2027年度

関西大学　総合型選抜
アドミッション・オフィス入学試験（AO入試）
入学試験要項

目　次

個人情報の取扱いに関する重要事項
1　募集学部・学科（専攻・専修）・募集人員 …… 1
2　日程・選考方法…… 2
3　出願資格…… 3
4　学部で特に定める基準等
　法学部…… 4
　文学部…… 6
　経済学部…… 8
　商学部…… 10
　社会学部…… 12
　政策創造学部…… 14
　外国語学部…… 15
　人間健康学部…… 17
　総合情報学部…… 18
　社会安全学部…… 19
　ビジネスデータサイエンス学部…… 20
　システム理工学部…… 22
　環境都市工学部…… 24
　化学生命工学部…… 27
5　出願手続・入学検定料…… 30
6　出願書類と作成上の注意…… 34
7　出願書類提出要領…… 41
8　出願時・受験時における注意事項…… 49
9　入学試験実施に際しての対応について…… 50
　感染症（インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等）について…… 50
10　受験番号の照会について…… 51
11　合格者発表…… 51
12　入学手続…… 52
13　学費・諸費…… 53
14　高等教育の修学支援新制度に係る本学の取扱いについて…… 55
15　障がいのある受験生等への受験上の配慮および修学上の配慮について…… 56
16　健康状況について…… 56
17　入学前教育について…… 56
18　関西大学への主な交通機関…… 57
19　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）について …… 58

この要項(表紙、個人情報の取扱いに関する重要事項、出願書類を除く)は全59ページから構成されています。

ご参考

関西大学
入試センター

個人情報の取扱いに関する重要事項

関西大学では、入学試験の出願にあたってお知らせいただいた個人情報（住所、氏名、電話番号など個人を特定しうる情報、以下「個人情報」という。）について、法令および関西大学個人情報保護方針に従って取扱います。

関西大学個人情報保護方針については、本学ホームページのトップページ（https://www.kansai-u.ac.jp/）から「個人情報の取扱い」をご参照ください。

⑴ 個人情報の利用目的

志願者の個人情報については、以下の利用目的の達成に必要な範囲内でのみ利用します。

①入学試験実施（出願処理、受験番号の通知および入学試験実施）
②合格者発表
③入学までの諸手続

⑵ 個人情報の管理

関西大学では、上記⑴の目的で収集した志願者の個人情報について、個人情報保護管理者を定め厳重に管理し、一定期間保管後、法令等に基づき適切に廃棄します。

⑶ 個人情報の共同利用について

次の外郭団体は、下記の目的および情報に限定して、個人情報を本学と共同して利用します。

関西大学共済会（以下「共済会」という。）

共済会は、学生生活の向上を図ることを目的として、傷病、入院、死亡、賠償責任等に係る共済制度を実施しています。

〈利用の目的および情報は以下のとおりです。〉

○入学金（入学登録金）納入者の手続番号、氏名、保護者等氏名、住所、電話番号、生年月日、学部・学科・専攻・専修の情報（共済掛金の納入状況確認および共済会加入手続きのため）

ご参考

⑷ 個人情報の第三者提供について

関西大学では、志願者本人の同意があった場合、または、法令に基づく場合を除き、個人情報を第三者に提供することはありません。

⑸ 個人情報の預託について

上記⑴に関する業務について、その一部を業者に委託することがあります。個人情報の預託にあたり、個人情報保護水準が十分な業者を選定し、志願者の個人情報の取扱いに関する条項を設けた契約を結んだうえで、関西大学の個人情報保護方針に従った方法により適切に取扱うよう管理します。

⑹ 関西大学入学試験の統計資料について

関西大学では、個人が特定されない状態で入学試験の統計資料を作成しています。この統計資料は、関西大学進学希望者への情報提供、当該データの分析および今後の関西大学入学試験の検討資料のために利用します。

⑺ 個人情報の開示、訂正、削除について

志願者から個人情報の開示、訂正、削除の請求があった場合、志願者本人であることを確認後、法令・基準等に基づき、速やかに対応します。なお、入学試験の合否判定の評価に関する事項については開示しません。

⑻ 問い合わせ窓口

個人情報の開示、訂正、削除等、志願者の個人情報に関するお問い合わせは、関西大学 入試センター 入試・高大接続グループにご連絡ください。

関西大学　入試センター 入試・高大接続グループ
〒564-8680　大阪府吹田市山手町３丁目３番35号　Tel.06-6368-1121（大代表）

1　募集学部・学科（専攻・専修）・募集人員

学　　部	学　科（専攻・専修）	募集人員
法　学　部	法学政治学科	【Ⅰ型】【Ⅱ型】【Ⅲ型】 あわせて25名
文　学　部	総合人文学科 ※1 英米文学英語学専修／英米文化専修／国語国文学専修／哲学専修／ ヨーロッパ文化専修／日本史・文化遺産学専修／ 世界史・地理学専修／教育文化専修／心理学専修／表象文化専修／ アジア文化専修	【自己推薦型】 【外国語能力重視型】 【論文評価型】 あわせて10名
	総合人文学科 初等教育学専修 ※2	【自己推薦型】 【外国語能力重視型】 【論文評価型】 あわせて３名
経済学部 ※3	経済学科	10名
商　学　部 ※4	商学科 マーケティング専修／ファイナンス専修／国際ビジネス専修／ マネジメント専修／会計専修	10名
社会学部	社会学科 社会学専攻／心理学専攻／メディア専攻／ 社会システムデザイン専攻	10名
政策創造学部 ※5	政策学科 政治経済専修／地域経営専修 国際アジア学科	５名
外国語学部 ※6	外国語学科	20名
人間健康学部 ※7	人間健康学科	【スポーツ活動実績型】 【地域貢献活動評価型】 【自己推薦型】 あわせて15名
総合情報学部	総合情報学科	【活動実績評価型】10名 【情報リテラシー評価型】10名
社会安全学部	安全マネジメント学科	【考動力評価型】５名
ビジネスデータサイエンス学部	ビジネスデータサイエンス学科	24名
システム理工学部	数学科、物理・応用物理学科、機械工学科、 電気電子情報工学科、グリーンエレクトロニクス工学科	【活動実績評価型】 【データサイエンス型】 あわせて11名 【データサイエンス型】は 電気電子情報工学科のみ
環境都市工学部	建築学科、都市システム工学科、エネルギー環境・化学工学科	【活動実績評価型】 【SDGs型】 あわせて８名※8
化学生命工学部	化学・物質工学科、生命・生物工学科	【探究評価型】５名 【実績評価型】 3名(化学･物質工学科のみ) 【関大メディカルポリマー(KUMP)型】 3名(化学･物質工学科のみ)

ご参考

関西大学では、必修科目等主要な授業科目の多くを第１時限から第５時限（９：00～17：50）に開講しています。夜間の授業時間帯のみの履修では卒業所要単位のすべてを修得することはできませんので、出願にあたっては十分ご留意ください。

※1　文学部 総合人文学科（初等教育学専修以外）の専修は募集の単位ではありません。文学部では学部一括で入学し、２年次に各専修に分属することになります。

※2　初等教育学専修での募集枠による入学者は、必ず１年次より初等教育学専修に所属することになります。上記※1とは取扱いが異なりますのでご留意ください。

※3　経済学部は「経済政策コース」「歴史・思想コース」「産業・企業経済コース」「国際経済コース」の４つのコースに分かれていますが、コースは募集の単位ではありません。経済学部では学部一括で入学し、３年次春学期に各コースへ分かれることになります。

※4　商学部の専修は募集の単位ではありません。商学部では学部一括で入学し、各専修に分属することになります。
なお、商学部では、2027年度入学生より「流通専修」を「マーケティング専修」に改編します。

※5　政策創造学部（政策学科）の専修は募集の単位ではありません。募集は学科単位で行います。政策創造学部（政策学科）では学部・学科一括で入学し、２年次に各専修に分属することになります。

※6　外国語学部の主専攻言語（英語・中国語）は、出願時に選択します。なお、出願時に選択した主専攻言語を入学後に変更することはできません。

※7　人間健康学部は「スポーツと健康コース」「福祉と健康コース」の２つのコースに分かれていますが、コースは募集の単位ではありません。人間健康学部では学部一括で入学し、２年次春学期に各コースに分かれることになります。

※8　環境都市工学部の学科ごとの募集人員は、【活動実績評価型】【SDGs型】をあわせて、建築学科３名、都市システム工学科３名、エネルギー環境・化学工学科２名です。

2　日程・選考方法

1　第１次選考（書類選考）

⑴第１次選考出願期間

2026年９月１日（火）～９月７日（月）　消印有効

※出願手続はデータ登録、第１次選考の入学検定料の納入、出願書類の郵送により完了します。
データ登録のみでは出願したものとして取扱いません。詳細は30ページで確認してください。

⑵選考方法

出願書類をもとに、各学部・学科（専攻・専修）で特に定める基準にしたがって、総合的に評価し選考します。

⑶受験番号の照会

受験番号の照会開始日：2026年10月５日（月）10時

スマートフォン・パソコン・タブレット端末を利用して、『関西大学入学試験 ポータルサイト』にログインのうえ、受験番号の確認を行ってください。

※受験番号照会の詳細は、51ページで確認してください。

⑷第１次選考（書類選考）合格者発表

2026年10月８日（木）

※合格者発表の詳細は、51ページで確認してください。

2　第２次選考（面接等）

⑴第２次選考出願期間

2026年10月９日（金）～10月13日（火）

※第２次選考の出願手続は、データ登録および第２次選考の入学検定料の納入により完了します。
詳細は51ページで確認してください。

ご参考

⑵選考日

次の要領により実施します。

<table>
<tr><th>学部</th><th>選考日</th><th>集合時刻</th><th>集合場所
（第２次選考受験票にてご確認ください）</th></tr>
<tr><td>政策創造学部</td><td>2026年
10月17日（土）</td><td rowspan="6">９：00※</td><td rowspan="2">関西大学　千里山キャンパス</td></tr>
<tr><td>法・文・経済・商・社会・
外国語・システム理工・
環境都市工・
化学生命工学部</td><td rowspan="5">2026年
10月18日（日）</td></tr>
<tr><td>人間健康学部</td><td>関西大学　堺キャンパス</td></tr>
<tr><td>総合情報学部</td><td>関西大学　高槻キャンパス</td></tr>
<tr><td>社会安全学部</td><td>関西大学　高槻ミューズキャンパス</td></tr>
<tr><td>ビジネスデータサイエンス学部</td><td>関西大学　吹田みらいキャンパス</td></tr>
</table>

※集合時刻を９：00としていますが、受験生によって異なる場合があります。
詳しくは「第２次選考受験票」（第２次選考出願者のみ第２次選考のデータ登録および入学検定料の納入後にダウンロード可能）でお知らせしますので、必ず確認してください。

⑶選考方法

「４　学部で特に定める基準等」（４～29ページ）の「選考方法」に記載のとおり。

第１次選考合格者について、第１次選考とあわせて評価し選考します。

⑷第２次選考（面接等）合格者発表

2026年11月２日（月）

※合格者発表の詳細は、51ページで確認してください。

3　出願資格

次の１から３の条件をすべて満たす国内および海外在住の者とします。

1　関西大学における志望学部での勉学を強く希望し入学を志す者。

2　次の⑴から⑶のいずれかに該当する者。

⑴高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2027年３月卒業見込みの者。
⑵通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2027年３月修了見込みの者。
⑶学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および2027年３月31日までにこれに該当する見込みの者。

ア　外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2027年３月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。
イ　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2027年３月31日までに修了見込みの者。
ウ　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2027年３月31日までに修了見込みの者。
エ　文部科学大臣の指定した者。
オ　文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者および2027年３月31日までに合格見込みの者、もしくは文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者。
カ　学校教育法第90条第２項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの。
キ　本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年３月31日までに18歳に達するもの。

○商学部、社会学部、総合情報学部およびビジネスデータサイエンス学部においては、上記⑴から⑶の条件に関して、2025年４月１日から2027年３月31日までの間に⑴から⑶のいずれかの条件を満たす者とします。
また、商学部およびビジネスデータサイエンス学部では、上記の条件のほか、2027年４月１日現在において満23歳未満の者とします。
○外国語学部においては、上記⑴から⑶の条件に関して、2026年４月１日から2027年３月31日までの間に⑴から⑶のいずれかの条件を満たす者とします。なお、上記⑶オの条件に該当する者は、事前に関西大学 入試センター 入試・高大接続グループまでご連絡ください。

ご参考

○　上記⑶キに該当する場合において、本学が、願い出により出願資格を認定した学校は下記のとおりです。

大阪朝鮮高級学校、神戸朝鮮高級学校、愛知朝鮮中高級学校、広島朝鮮初中高級学校、
九州朝鮮中高級学校、京都朝鮮中高級学校、東北朝鮮初中高級学校、神奈川朝鮮中高級学校、
東京朝鮮中高級学校、茨城朝鮮初中高級学校、北海道朝鮮初中高級学校、コリア国際学園高等部
（2026年６月 現在）

（注1）外国の教育制度に基づく高等学校出身者は、大学進学のための統一試験のある教育制度について、当該制度またはその他の制度の統一試験等を受験していることが望ましい。
（注2）外国の教育制度に基づく高等学校出身者で、日本語を母語あるいは日常使用語としない者は、大学の講義を理解するに足る日本語能力を有していることが必要です。
（注3）個別の入学資格審査について
関西大学では、個人の学習歴等を勘案し、上記⑶キに該当すると判断された場合、受験資格を認めることとしています。
本学の入学資格審査により出願を希望する者は、必ず2026年７月３日（金）までに関西大学 入試センター 入試・高大接続グループに申し出てください。

3　各学部（学科、専攻、専修）で特に定めた基準を満たしている者。

「４　学部で特に定める基準等」（４～29ページ）で確認してください。

4　その他

⑴**志望（出願）できる学部（学科、専攻、専修）は１つのみです。本制度内での併願は認められません。**
⑵AO入試に出願している者が、関西大学の各種推薦入学制度に出願する場合は、AO入試への出願を辞退したものとして扱います。
また、関西大学のAO入試とSF入試を同時に出願することは可能ですが、両入試とも第１次選考に合格した場合は、どちらかの入試を選択して第２次選考の出願をしてください。
⑶卒業見込み、修了見込み、高等学校卒業程度認定試験合格見込み等により出願し、AO入試に合格した者が、2027年３月31日までに当該見込みを満たせなかった場合には入学を許可しません。

4　学部で特に定める基準等

法学部
【Ⅰ型】（国際関係志向型）

求める学生像	法学および政治学に加えて、国際関係に関する諸問題に強い関心を持ち、かつ英語運用能力の向上に主体的に取り組み、将来グローバルに活躍することを志す者。そのために、現代の国際問題に関する基礎的な英文を正確に理解する能力、また自己の見解を表現する能力を持つことが望まれる。
学部で特に定める基準	以下に示す英語外部試験の基準（CEFR B1レベル以上）のうち、いずれかのグレードまたはスコアを有すること。 ○Cambridge English B1 Preliminary（for Schoolsを含む）以上を受検し、140点以上 ○実用英語技能検定２級以上を受検し、CSEスコア1,950点以上（S-CBT、S-Interviewも対象） ○GTEC（４技能）AdvancedまたはCBTを受検し、930点以上（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る） ○IELTS 4.0以上（アカデミック・モジュールに限る） ○TEAP（Reading/Listening＋Writing＋Speaking）225点以上 ○TOEFL iBT® 3.0以上（2026年１月20日以前に受検した場合は42点以上） ○TOEIC® Tests L&R 550点以上かつS&W 240点以上 ※グレードまたはスコアは出願時において過去２年以内に取得したものとします。 ※TOEFL iBT® Home Editionは対象としません。 ※TOEFL iBT®は、Test Dateスコア（各テスト日の試験結果）のみを利用します（「MyBest® scores」は利用しません）。 ※TOEFL ITP®テストおよびTOEIC® L&R/S&W IPテストは対象となりません。
学部で特に定める資料	●「学部で特に定める基準」に示す、英語外部試験のグレードまたはスコアを有することを証明する書類（試験実施機関が発行した証明書等）を提出してください。 ※DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。
選考方法	第１次選考、第２次選考を通じて、法学部で学ぶにあたって、それに対応できる能力と適性を有しているか否かを基準として判定します。 １　第１次選考について 「③入学志望理由書」および出願書類による書類選考を行います。 ２　第２次選考について 英文資料の内容を理解する能力を問う問題（90分、日本語200字程度で要旨を作成）と面接（口頭試問を含む）で総合的に評価します。英文資料は、第２次選考日当日に配付します。面接（口頭試問を含む）には、「③入学志望理由書」に関する質問も含みます。
その他	●【Ⅱ型】・【Ⅲ型】との併願は認めません。 ●入学後は、国際関係プログラム（旧 英語で発信する政治学プログラム）を受講し、同プログラムの３つの演習科目を履修することになります。プログラムの詳細については、法学部ホームページをご覧ください。

参考

（次ページにつづく）

法学部（つづき）

【Ⅱ型】（文献読解能力重視型）

求める学生像	法律、政治に関する文献、データ・資料などを読み解き、そこから得られた理解をもとに、現実の社会問題を考察することを通じて、社会にとって有益な知見を提供していくことのできる学生を求める。そのために、与えられた文献資料を正確かつ生産的に解釈し、その解釈に基づいて社会問題を論じる能力が望まれる。
学部で特に定める基準	設定なし。
学部で特に定める資料	●「④指定図書についての小論文［任意テーマ］」（本学指定用紙、2,000字程度、2,500字上限） **指定図書：『多様性とどう向き合うか―違和感から考える』（岩波新書、2025年）岩渕功一著** **（指定図書は各自で入手してください。）** 「指定図書を読み、そこで取り扱われているテーマのうち、あなたが最も重要と考えるものについて論じなさい。その際、そのテーマが、あなただけでなく、社会全体にとってなぜ重要であるかということを説明すること。なお、指定図書の著者の見解にしたがう必要はなく、批判的に考察してもよい。」
選 考 方 法	第１次選考、第２次選考を通じて、法学部で学ぶにあたって、それに対応できる能力と適性を有しているか否かを基準として判定します。 １　第１次選考について 上記の「④指定図書についての小論文」および出願書類による書類選考を行います。 ２　第２次選考について 「指定図書についての小論文［課題テーマ］」（90分、1,000字程度、1,500字上限）と面接（口頭試問を含む）で総合的に評価します。「指定図書についての小論文［課題テーマ］」の課題は、第２次選考日当日に配付します。 ※**指定図書は、第２次選考日当日、必ず持参してください。**
その他	●【Ⅰ型】・【Ⅲ型】との併願は認めません。

【Ⅲ型】（法曹志望者特化型）

求める学生像	「グローバルな視野、法的な思考を養い、多様な分野で活躍する人を育成する」という法学部の理念に賛同し、入学後は、日々の研鑽と努力を惜しまず法曹（裁判官、検察官および弁護士）に必要な資質を得ようという強い意欲をもつ者。
学部で特に定める基準	設定なし。
学部で特に定める資料	●「⑤将来計画書」（本学指定用紙、2,000字程度、2,500字上限） 関西大学法学部入学後の４年間で、あなたがどのように学習していくか、および将来法曹としてどのように活動していくかについて、記入してください。
選 考 方 法	第１次選考、第２次選考を通じて、論理的思考力・文章作成能力・読解力を基に、法曹の適性を有しているか否かを基準として判定します。 １　第１次選考について 「③入学志望理由書」および「⑤将来計画書」ならびに出願書類による書類選考を行います。 ２　第２次選考について 「長文読解（600字程度）・小論文［課題テーマ］（800字程度、1,000字上限）」（90分）と面接（口頭試問を含む）で総合的に評価します。
その他	●【Ⅰ型】・【Ⅱ型】との併願は認めません。 ●入学後は「法曹プログラムプレクラス」を受講していただきます。 ※「法曹プログラムプレクラス」は、２年次から始まる法曹コースの受講を保証するものではありません。法曹コースは、１年次の成績に基づく選考を経て、受講の可否が決定されます。

※【Ⅰ型】・【Ⅱ型】・【Ⅲ型】ともに、出願書類の作成に際し、他人の文章を書き写したり、他人に代わって書いてもらったものについては無効とします。

ご参考

文学部

【総合人文学科（初等教育学専修以外）】

<table>
<tr><td>求める学生像</td><td>1　文学部での勉学を強く希望し入学を志す者。
2　文学部の多様な専門分野のうち、自らが何をどのように学びたいかを明確かつ具体的に構想している者。
※文学部では、豊かな人格形成をめざそうとする者、国際化時代に対応できるように外国語に関心をもち、外国語運用能力を身につけようとする者、自己の見解を説得的に表現し、正当に自己主張できる能力をもつ者を強く望んでいます。</td></tr>
<tr><td>学部で特に定める基準</td><td>高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および卒業見込みの者で、高等学校もしくは中等教育学校における全体の評定平均値が3.5以上の者で、以下１～３のいずれかによって志望する専修における勉学との結びつきがアピールできること。
なお、「３　出願資格２－⑴」（３ページ）に該当しない者、もしくは外国における教育を受け、評定平均値が算出できない者については、評定平均値の条件は設けていません。
１　【自己推薦型】
次のいずれかを満たしている者。
⑴　学術・文化・芸術活動等さまざまな分野で積極的な活動を行い、社会的に高い評価を得ており、その評価を証明する資料を提出できること。
⑵　高度な資格や技能を有し、高い評価を得ている者で、かつこれを証明する資料を提出できること。
２　【外国語能力重視型】
次のいずれかを有する者。ただし、外国語検定試験のグレードまたはスコアは出願時において過去２年以内に取得したものとする。
<table><tr><td>英　　語</td><td>実用英語技能検定２級以上／TOEFL iBT®3.0以上／TOEIC® L&R500点以上</td></tr><tr><td>フランス語</td><td>実用フランス語技能検定４級以上／DELF A1以上／TCF100点（niveau 1）以上</td></tr><tr><td>ドイツ語</td><td>ドイツ語技能検定４級以上／Start Deutsch A1以上／OeSD A2以上</td></tr><tr><td>中　国　語</td><td>中国語検定４級以上／HSK２級以上（ただし５級および６級は120点以上）</td></tr></table>※実用英語技能検定の場合は、試験実施機関が発行した合格証明書および個人成績表（一次試験、二次試験とも）の提出が必要です。また、S-CBT、S-Interviewも対象となります。
※TOEFL iBT® Home Editionは対象としません。
※TOEFL iBT®は、Test Dateスコア（各テスト日の試験結果）のみを利用します（「My-Best® scores」は利用しません）。
※TOEFL iBT®は、2026年１月20日以前に受検した場合は52点以上になります。
※TOEFL ITP®テストおよびTOEIC® L&R IPテストは対象となりません。
３　【論文評価型】
人文学の領域に属する任意のテーマによる自ら作成した「⑥-１論文」（本学指定用紙、6,000～8,000字程度）を提出できる者。</td></tr>
<tr><td>選考方法</td><td>文学部での勉学への意欲の強さを重視します。志望者は、これまでの活動実績を具体的に説明するとともに、それが文学部での勉学とどのように結びつくのかをアピールしてください。
１　第１次選考について
第１次選考では、「②活動報告書」、「③入学志望理由書」、「調査書」、「⑥-１論文」（【論文評価型】で出願する場合）、出願資格を証明する資料（【自己推薦型】・【外国語能力重視型】で出願する場合）による書類選考を行います。
２　第２次選考について
【自己推薦型】・【論文評価型】
第２次選考実施日に実施する「小論文」（90分、800～1,000字程度）と面接（口頭試問を含む）で総合的に評価します。
【外国語能力重視型】
第２次選考実施日に実施する「各外国語*の長文読解問題」（90分）と面接（口頭試問を含む）で総合的に評価します。
＊第１次選考出願時に選択した外国語
＊第２次選考実施日に以下の辞書を１冊持参してください（ただし電子辞書は除く）。
英語選択者〔英和辞典〕・フランス語選択者〔仏和辞典〕
ドイツ語選択者〔独和辞典〕・中国語選択者〔中日辞典〕
（注）持ち込み可能な辞書としては、例えば英語を選択していた場合「英和」に限るものとし、それ以外の機能の付いたもの（例：「英和・和英辞典」、「英和・英英辞典」等）や書き込みされたものなどについては認めません。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>１　希望専修について
入学前教育プレステューデント・プログラムの「専修別プログラム」受講希望専修として取扱います。
２　専修分属について
学部一括で入学し、２年次進級時にいずれかの専修に所属することになります。</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

文学部（つづき）

【初等教育学専修】

<table>
<tr><td>求める学生像</td><td>1　文学部初等教育学専修での勉学を強く希望し入学を志す者。
2　文学部初等教育学専修において、自らが何をどのように学びたいかを明確かつ具体的に構想している者。
※文学部では、豊かな人格形成をめざそうとする者、国際化時代に対応できるように外国語に関心をもち、外国語運用能力を身につけようとする者、自己の見解を説得的に表現し、正当に自己主張できる能力をもつ者を強く望んでいます。</td></tr>
<tr><td>専修で特に定める基準</td><td>高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および卒業見込みの者で、高等学校もしくは中等教育学校における全体の評定平均値が3.5以上の者で、以下１～３のいずれかによって初等教育学専修における勉学との結びつきがアピールできること。
なお、「３　出願資格２－⑴」（３ページ）に該当しない者、もしくは外国における教育を受け、評定平均値が算出できない者については、評定平均値の条件は設けていません。
１　【自己推薦型】
次のいずれかを満たしている者。
⑴　学術・文化・芸術活動等さまざまな分野で積極的な活動を行い、社会的に高い評価を得ており、その評価を証明する資料を提出できること。
⑵　高度な資格や技能を有し、高い評価を得ている者で、かつこれを証明する資料を提出できること。
２　【外国語能力重視型】
次のいずれかを有する者。ただし、外国語検定試験のグレードまたはスコアは出願時において過去２年以内に取得したものとする。
<table><tr><td>英　　語</td><td>実用英語技能検定２級以上／TOEFL iBT®3.0以上／TOEIC® L&R500点以上</td></tr><tr><td>フランス語</td><td>実用フランス語技能検定４級以上／DELF A1以上／TCF100点（niveau 1）以上</td></tr><tr><td>ドイツ語</td><td>ドイツ語技能検定４級以上／Start Deutsch A1以上／OeSD A2以上</td></tr><tr><td>中　国　語</td><td>中国語検定４級以上／HSK２級以上（ただし５級および６級は120点以上）</td></tr></table>※実用英語技能検定の場合は、試験実施機関が発行した合格証明書および個人成績表（一次試験、二次試験とも）の提出が必要です。また、S-CBT、S-Interviewも対象となります。
※TOEFL iBT® Home Editionは対象としません。
※TOEFL iBT®は、Test Dateスコア（各テスト日の試験結果）のみを利用します（「My-Best® scores」は利用しません）。
※TOEFL iBT®は、2026年１月20日以前に受検した場合は52点以上になります。
※TOEFL ITP®テストおよびTOEIC® L&R IPテストは対象となりません。
３　【論文評価型】
小学校教育に関する任意のテーマによる自ら作成した「⑥-２論文」（本学指定用紙、6,000～8,000字程度）を提出できる者。</td></tr>
<tr><td>選考方法</td><td>初等教育学専修での勉学への意欲の強さを重視します。志望者は、これまでの活動実績を具体的に説明するとともに、それが初等教育学専修での勉学とどのように結びつくのかをアピールしてください。
１　第１次選考について
第１次選考では、「②活動報告書」、「③入学志望理由書」、「調査書」、「⑥-２論文」（【論文評価型】で出願する場合）、出願資格を証明する資料（【自己推薦型】・【外国語能力重視型】で出願する場合）による書類選考を行います。
２　第２次選考について
【自己推薦型】・【論文評価型】
第２次選考実施日に実施する「小論文」（90分、800～1,000字程度）と面接（口頭試問を含む）で総合的に評価します。
【外国語能力重視型】
第２次選考実施日に実施する「各外国語*の長文読解問題」（90分）と面接（口頭試問を含む）で総合的に評価します。
＊第１次選考出願時に選択した外国語
＊第２次選考実施日に以下の辞書を１冊持参してください（ただし電子辞書は除く）。
英語選択者〔英和辞典〕・フランス語選択者〔仏和辞典〕
ドイツ語選択者〔独和辞典〕・中国語選択者〔中日辞典〕
（注）持ち込み可能な辞書としては、例えば英語を選択していた場合「英和」に限るものとし、それ以外の機能の付いたもの（例：「英和・和英辞典」、「英和・英英辞典」等）や書き込みされたものなどについては認めません。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>入学後の所属専修について
本募集枠による入学者は、１年次より初等教育学専修に所属することになります（２年次進級時に他の専修に分属することはできません）。</td></tr>
</table>

見本

経済学部

求める学生像	経済学部での勉学を強く希望し入学を志す者。 1　経済学部生にとっての勉学の中心となるゼミナール（演習）においてリーダー的存在として活躍できるだけの問題意識、思考力、表現力、他人に説明し説得する能力などをもった学生が求められています。 2　また、実社会の経験をもち、目的意識が明確で勉学意欲のある社会人、あるいは生涯学習として高等教育の機会を求める人々に対しても、AO入試による選考を実施します。
学部で特に定める基準	次の1または2の要件を満たしている者。 **1　【一般】** 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および卒業見込みの者で、高等学校もしくは中等教育学校における**全体の評定平均値が3.5以上**の者で、以下Ａ～Ｃのいずれかによって経済学部での勉学との結びつきがアピールできること。 なお、「3　出願資格２－⑴」（３ページ）に該当しない者、もしくは外国における教育を受け、評定平均値が算出できない者については、評定平均値の条件は設けていません。 **Ａ〔自己推薦型〕** 次の⑴または⑵のいずれかを満たしている者。 ⑴　学術・文化・芸術活動などさまざまな分野で積極的な活動を行い、社会的に高い評価を得ており、その評価を証明する資料が提出できること。 ⑵　高度な資格や技能を有し、高い評価を得ている者で、かつこれを証明する資料を提出できること。 **Ｂ〔グローバルリーダー志向型〕** 次の⑴または⑵のいずれかの資料を提出できる者。 ⑴　各種外国語検定の資格証明書 **例示** 英語外部試験CEFR B1レベル以上、実用英語技能検定２級以上、 実用フランス語技能検定４級以上、ドイツ語技能検定４級以上、 中国語検定４級以上、韓国語能力試験２級以上　など ※グレードまたはスコアは出願時において過去２年以内に取得したものとします。 ※実用英語技能検定S-CBT、S-Interviewも対象となります。 ※TOEFL iBT® Home Editionは対象としません。 ※TOEFL iBT®は、Test Dateスコア（各テスト日の試験結果）のみを利用します（「MyBest® scores」は利用しません）。 ※TOEFL ITP®テストおよびTOEIC® L&R/S&W IPテストは対象となりません。 ⑵　外国留学時における社会活動の実績証明書 **Ｃ〔データサイエンティスト志向型〕** 次の⑴または⑵のいずれかを満たしている者。 ⑴　情報処理やデータサイエンスに関する活動で社会的に高い評価を得ており、かつこれを証明する資料を提出できること。 **例示** 各種協会発行の証明書、コンテストやコンクールの入賞証明（表彰状の写しなど）、新聞・雑誌記事など。 ⑵　情報処理・数学技能などに関わる高度な資格を有し、かつこれを証明する資料を提出できること。 **例示** 統計検定３級以上、実用数学技能検定準１級以上、独立行政法人情報処理推進機構基本情報技術者試験合格など。

（次ページにつづく）

参考

	2 【社会人】 次の条件をすべて満たしている者で、実社会での経験と経済学部での勉学との結びつきがアピールできること。 ⑴ 2027年４月１日現在、満25歳以上の者。 ⑵ 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者もしくは2027年３月卒業見込みの者、または大学入学に関して高等学校を卒業した者と同等の学力があると認められる者（大学入学資格検定合格、高等学校卒業程度認定試験合格および合格見込みの者を含む）。 ⑶ 次のいずれかのグレードまたはスコアを有すること。ただし、グレードまたはスコアは出願時において過去２年以内に取得したものとする。 実用英語技能検定 準２級以上合格 Cambridge English A2 Key（for Schoolsを含む）以上 GTEC（４技能）680点以上（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る） IELTS 4.0以上（アカデミック・モジュールに限る） TEAP（Reading／Listening＋Writing＋Speaking）135点以上 TOEFL iBT® 2.0以上（2026年１月20日以前に受検した場合は42点以上） TOEIC® Tests L&R 225点以上かつS&W 160点以上 ※実用英語技能検定S-CBT、S-Interviewも対象となります。 ※TOEFL iBT® Home Editionは対象としません。 ※TOEFL iBT®は、Test Dateスコア（各テスト日の試験結果）のみを利用します（「MyBest® scores」は利用しません）。 ※TOEFL ITP®テストおよびTOEIC® L&R IPテストは対象となりません。
学部で特に定める資料	●「学部で特に定める基準」１－A～Cおよび２－⑶については、出願資格を証明する資料を提出してください。なお、推薦書、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。
選考方法	１ 第１次選考について 第１次選考では、指定した出願書類をもとに書類選考を行います。 ２ 第２次選考について 第２次選考では、第２次選考日に作成する「課題エッセイ」（800字程度）の評価および「課題エッセイ」を素材にして行う面接（口頭試問を含む）の評価を総合して判断します。

参考

商学部

求める学生像	1　商学部での勉学を強く希望し入学を志す者。 2　本学部は「品格のある柔軟なビジネスリーダーの育成」をめざしています。この目標に向けて、AO入試では、(a) 簿記・会計、英語等の資格取得で大きな成果をあげた学生、(b) 起業に具体的な関心をもつ学生、(c) 外国での勉学経験のある個性的で国際感覚の豊かな学生を求めています。
学部で特に定める基準	次の1および2の要件を満たしている者。 1　次の⑴または⑵のいずれかの要件を満たしている者。 ⑴　2025年4月1日から2027年3月31日までの間に、高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および卒業見込みの者（ただし、2027年4月1日現在において満23歳未満の者）で、高等学校もしくは中等教育学校における**全体の評定平均値が3.5以上**の者。 なお、「3　出願資格2－⑴」（3ページ）に該当しない者、もしくは外国における教育を受け、評定平均値が算出できない者については、評定平均値の条件は設けていません。 ⑵　外国での教育が通算して3年以上の者で国の内外を問わず学校教育における12年の課程を修了した者または2027年3月31日までに修了見込みの者。 2　高等学校卒業（または大学入学資格を取得した年度）以前に、次の⑴から⑷のいずれかの要件を満たしている者。 ⑴　**簿記・会計に関する高度な資格をもつ者** **例示** 〈簿記〉日商簿記検定試験1級合格者、または日商簿記検定試験1級4科目の合計点が50点以上の者等。 〈会計〉公認会計士試験短答式試験合格者、公認会計士試験論文式試験合格者、税理士試験科目合格者等。 ⑵　**英語等に関する高度な資格をもつ者** **例示** 〈英語〉実用英語技能検定準1級以上（CBT、S-CBT、S-Interviewも対象）の資格を取得している者、GTEC（4技能）1,100点以上（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る）の者、TOEFL iBT® 4.0以上（2026年1月20日以前に受検した場合は72点以上）の者、TOEIC® L&R740点以上の者等。 ※TOEFL iBT® Home Editionは対象としません。 ※TOEFL iBT®は、Test Dateスコア（各テスト日の試験結果）のみを利用します（「MyBest® scores」は利用しません）。 ※TOEFL ITP®テストおよびTOEIC® L&R/S&W IPテストは対象としません。 〈情報〉独立行政法人情報処理推進機構応用情報技術者試験に合格している者、または日本情報オリンピック本選Bランク以上の者等。 〈数学〉日本数学オリンピック予選Bランク以上の者、または実用数学技能検定準1級以上の者等。 ⑶　**ビジネス関連のコンペティションで優れた実績をあげた者** 全国レベルのビジネス関連のコンペティションで優勝または準優勝した者。ただし、ビジネス関連のコンペティションに団体で参加した場合は、リーダーとしての役割を果たした者に限ります。 ⑷　**国際バカロレア資格（フルディプロマ）を日本語DP実施校において取得した者または2027年3月31日までに取得見込みの者**

（次ページにつづく）

ご参考

商学部（つづき）

学部で特に定める資料	1 「学部で特に定める基準」の２については、出願資格を証明する資料を提出してください。なお、推薦書、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。 2 「学部で特に定める基準」の２－(3)については、全国レベルのビジネス関連のコンペティションに団体で参加した際はリーダーとしての役割を果たしたことを示す、学校長発行の証明書を提出してください。 3 「学部で特に定める基準」の２－(4)については、以下の国際バカロレア資格に関する証明書等を提出してください。 〈国際バカロレア資格を取得した者〉 「国際バカロレア資格証明書の写し（コピー）」および「国際バカロレア最終試験６科目の成績評価証明書」 〈国際バカロレア資格を取得見込みの者〉 「⑦国際バカロレア資格取得見込証明書 兼 最終成績予測スコア証明書」（本学指定用紙） 国際バカロレア資格を取得見込みの者は、本入試での合格後、2027年１月31日（日）までに「国際バカロレア資格証明書の写し（コピー）」および「国際バカロレア最終試験６科目の成績評価証明書」を関西大学 入試センター 入試・高大接続グループ（〒564-8680 大阪府吹田市山手町３丁目３番35号）へ提出してください。 4 その他、出願後に追加書類を求めることがあります。
選考方法	1 第１次選考について 第１次選考では、指定した出願書類をもとに、書類選考を行います。 2 第２次選考について 提出書類に基づき面接（口頭試問を含む）を行います。
その他	1 出願に際しては、前記「学部で特に定める基準」の２－(1)から(4)のいずれか１つのみを選択してください。複数の要件で出願することはできません。 2 AO入試に出願している者が、商学部全国商業高等学校長協会特別推薦入学に出願する場合は、AO入試への出願を辞退したものとして扱います。

ご参考

社会学部

【社会学専攻】

求める学生像	1　社会学専攻の特徴をよく理解し、社会学専攻での勉学を強く希望し、入学を志す者。 2　社会に対する関心が高く、勉学意欲があり、リーダーシップを発揮できる者。 3　「常識を疑う」という思考方法と、いくつもの視点から物事を多角的にとらえる「複眼思考」をもつ者。
専攻で特に定める基準	以下の要件すべてを満たす者。 1　2025年４月１日から2027年３月31日までの間に、高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および卒業見込みの者で、高等学校もしくは中等教育学校における**全体の評定平均値が4.0以上**である者。 なお、「３　出願資格２－(1)」（３ページ）に該当しない者、もしくは外国における教育を受け、評定平均値が算出できない者については、評定平均値の条件は設けていません。 2　学術・文化・芸術などの活動や社会活動において、高校入学以降に見るべき活動実績があり、その成果を社会学専攻での勉学と結びつけて自己アピールできる者で、かつ活動実績を証明する資料※1または活動実績を証明する資料がない場合に限り「⑱活動実績に関する推薦書」※2に代えて提出できる者。とりわけ、学校外の社会活動において、継続して２年以上取り組んだ実績があり、リーダーシップを発揮してきたことを重視する。
専攻で特に定める資料	●「⑧専攻別課題レポート」（本学指定用紙、2,000字程度） 専攻が設定した課題について、自分なりの考えや着想を盛り込んでレポートを作成してください。
選考方法	1　第１次選考（書類選考） 「②活動報告書」、「③入学志望理由書」（2,000字以内）、「⑧専攻別課題レポート」、「出願資格を証明する資料」（各種協会等が発行する証明書等）、「調査書」による書類選考を行います。 2　第２次選考（面接） 「②活動報告書」、「③入学志望理由書」および「⑧専攻別課題レポート」の内容について口頭試問を行います。

【心理学専攻】

求める学生像	1　心理学専攻における心理学の学びに対して強い意欲をもち、入学を志す者。 2　以下のいずれかに該当する者。 (1)　科学的探求心をもち、その活動が評価されている者。 (2)　心理学を実学として学び、それを社会に活かす意志を明確にもつ者。 (3)　国際的な視野をもち、そのような活動に継続的に参加している者。 (4)　これまでの経験をとおして、社会に関する広い視野と深い関心をもつ者。
専攻で特に定める基準	以下の要件すべてを満たす者。 1　2025年４月１日から2027年３月31日までの間に、高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および卒業見込みの者で、高等学校もしくは中等教育学校における**全体の評定平均値が3.8以上、かつ６教科（国語、外国語（英語以外の外国語を含む）、地理歴史、公民、数学および理科）の評定平均値が3.8以上**である者。 なお、「３　出願資格２－(1)」（３ページ）に該当しない者、もしくは外国における教育を受け、評定平均値が算出できない者については、評定平均値の条件は設けていません。 2　各種の賞を受賞した証明書など、特筆すべき活動実績を証明する資料※1または特筆すべき活動実績を証明する資料がない場合に限り「⑱活動実績に関する推薦書」※2に代えて提出できる者で、心理学専攻での学びと、これまでの活動内容を結びつけて、自己アピールできる者。
選考方法	1　第１次選考（書類選考） 「②活動報告書」、「③入学志望理由書」（4,000字以内）、「出願資格を証明する資料」（各種協会等が発行する証明書等）、「調査書」による書類選考を行います。 2　第２次選考（面接） 「②活動報告書」、「③入学志望理由書」の内容について口頭試問を行います。

【メディア専攻】

求める学生像	1　メディア専攻の教育内容を十分に理解したうえで、学ぶ意欲をもち、入学を志す者。 2　以下のいずれかに該当する者。 (1)　広い意味でのメディアによる表現活動によって、特筆すべき評価を受けた者。 (2)　メディアに対する関心が高く、社会に影響を与えるような特色ある活動に持続的に取り組んできた者。

（次ページにつづく）

参考

社会学部（つづき）

専攻で特に定める基準	以下の要件をすべて満たす者。 1　2025年４月１日から2027年３月31日までの間に、高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および卒業見込みの者で、高等学校もしくは中等教育学校における**全体の評定平均値が3.5以上**である者。 　なお、「３　出願資格２－(1)」（３ページ）に該当しない者、もしくは外国における教育を受け、評定平均値が算出できない者については、評定平均値の条件は設けていません。 2　学術・文化・芸術・その他の活動分野において、見るべき活動実績や資格・技能があり、その成果をメディア専攻での勉強と結びつけて自己アピールできる者で、かつ資格や活動実績等を証明する資料※1または活動実績を証明する資料がない場合に限り「⑱活動実績に関する推薦書」※2に代えて提出できる者。
専攻で特に定める資料	●「⑧専攻別課題レポート」（本学指定用紙、2,000字程度） 　専攻が設定した課題について、自分なりの考えや着想を盛り込んでレポートを作成してください。
選考方法	1　第１次選考（書類選考） 　「②活動報告書」、「③入学志望理由書」（2,000字以内）、「⑧専攻別課題レポート」、「出願資格を証明する資料」（各種協会等が発行する証明書等）、「調査書」による書類選考を行います。 2　第２次選考（小論文および面接） 　第２次選考実施日当日に行う小論文（50分、600字程度、新聞等で報道される時事性の高い議論を出題する）と「②活動報告書」、「③入学志望理由書」および「⑧専攻別課題レポート」の内容についての口頭試問で総合的に評価します。

【社会システムデザイン専攻】

求める学生像	1　社会システムデザイン専攻での勉学を強く希望し、入学を志す者。 2　以下にあげる社会システムデザイン専攻の３つの分野に関わる実社会の課題に強い関心をもち、解決策を考えるための知識や方法を意欲的に学び、導き出した解決策を実践することに積極的な者。 (1)　産業経済や経営のしくみを理解する「ビジネス社会」分野。 (2)　社会のつながりや新しい社会の動きを理解し、社会で働くための能力を養う「ネットワーク社会」分野。 (3)　地域や自治体の課題あるいは国際的な問題に取り組み、新しい政策を提案するための専門知識を学ぶ「地域・国際社会」分野。
専攻で特に定める基準	以下の要件すべてを満たす者。 1　2025年４月１日から2027年３月31日までの間に、高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および卒業見込みの者で、高等学校もしくは中等教育学校における**全体の評定平均値が3.8以上**である者。 　なお、「３　出願資格２－(1)」（３ページ）に該当しない者、もしくは外国における教育を受け、評定平均値が算出できない者については、評定平均値の条件は設けていません。 2　社会システムデザイン専攻の勉学に関わる活動分野において、見るべき活動実績や資格・技能があり、その成果を社会システムデザイン専攻での勉強・研究活動と結びつけて自己アピールできる者で、かつ資格や活動実績を証明する資料※1または活動実績を証明する資料がない場合に限り「⑱活動実績に関する推薦書」※2に代えて提出できる者。 社会システムデザイン専攻の勉学に関わる活動分野 **例示**　学業･地域活動･ボランティア活動･文化活動･課外活動･創作活動･語学能力･海外留学等
専攻で特に定める資料	●「⑧専攻別課題レポート」（本学指定用紙、2,000字程度） 　専攻が設定した課題について、自分なりの考えや着想を盛り込んでレポートを作成してください。
選考方法	1　第１次選考（書類選考） 　「②活動報告書」、「③入学志望理由書」（2,000字以内）、「⑧専攻別課題レポート」、「出願資格を証明する資料」（各種協会等が発行する証明書等）、「調査書」による書類選考を行います。 2　第２次選考（面接） 　「②活動報告書」、「③入学志望理由書」および「⑧専攻別課題レポート」の内容について口頭試問を行います。

※１各種試験の実施機関・各種大会の開催者等が発行する証明書や表彰状の写しのほか、次のものも含みます。
・大会パンフレット、メンバー表、新聞・雑誌の記事等、活動実績を示す発行物の写し（掲載場所がわかるように、印をつけてください）。
・絵画、書道、作文、DVD-RまたはCD-R（データ追記ができないもの）に記録した資料等、活動分野での成果や作品を示すもの。
※２活動実績を証明する資料がない場合に限り、顧問教諭や当該施設・団体の長等によって活動実績を証明するために作成された「⑱活動実績に関する推薦書」に代えることができます（「⑱活動実績に関する推薦書」に対する「⑰資料説明票」の提出も必要です）。

参考

政策創造学部

求める学生像	1　政策創造学部での勉学を強く希望し入学を志す者。 　政策創造学部は、国際関係、政治、経済、経営戦略、法律、地域文化など多様な領域を横断的に学び、現代社会のさまざまな問題を発見、解決の方法を見出す力と実行する力を養うことをめざしています。したがって、たとえば国内外の公的機関（国連職員、国家公務員、地方公務員など）、NGO、NPO、金融機関や企業組織等において、既存の枠組みにとらわれない問題解決能力と行動力を兼ね備えた人材となるための“実践的政策立案力”を養い、磨くことに強い興味と意欲を有する者を強く求めています。 2　少人数ゼミナール、フィールドワーク、インターンシップなどの実践教育を重視する政策創造学部は、AO入試において、地球規模で現代社会・組織などにおけるさまざまな問題に関心を抱き、これについて考え、自分の意見を形成できる、また自分の意見を他人に説明し説得する能力をもつ者を強く望んでいます。 3　欧米・アジア諸国の法や政治経済に強い関心をもち、国際社会で活躍することをめざす者の志望を強く求めています。
学部で特に定める基準	以下に示すいずれかの資格証明書や実績証明書などの資料を提出できる者。 **・学術・文化・芸術・スポーツ活動などにおける社会活動の実績証明書。** **・国・地方公共団体・大学などが実施するコンテストなどの入賞を証明する資料。** **例示1　各種外国語検定試験の資格証明書** 英語外部試験CEFR B２レベル以上 Cambridge English B2 First（for Schoolsを含む）以上を受検し、160点以上 ／ 実用英語技能検定準１級以上を受検し、CSEスコア2,300点以上(CBT、S-CBT、S-Interviewも対象) ／ GTEC（４技能）AdvancedまたはCBTを受検し、1,180点以上（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る） ／ IELTS 5.5以上（アカデミック･モジュールに限る） ／ TEAP (Reading/Listening+Writing+Speaking) 309点以上 ／ TOEFL iBT® 4.0以上（2026年1月20日以前受検の場合は72点以上） ／ TOEIC® Tests L&R 785点以上かつS&W 310点以上 英語以外の外部試験CEFR B１レベル以上 ドイツ語技能検定試験２級以上／韓国語能力試験３級以上／実用フランス語技能検定試験２級以上 などに相当するもの。 ※TOEFL iBT® Home Editionは対象としません。 ※TOEFL iBT® は、Test Dateスコア（各テスト日の試験結果）のみを利用します（「MyBest® scores」は利用しません）。 ※TOEFL ITP® テストおよびTOEIC® L&R/S&W IPテストは対象となりません。 **例示2　社会経済問題に関わる資格証明書、または社会活動の顕著な実績もしくはコンテスト等での入賞を証明する資料** ニュース時事能力検定２級以上（CBTも対象） などに相当するもの。 **例示3　簿記・情報処理・数学技能などに関わる資格証明書** 日商簿記検定試験２級以上／応用情報技術者試験合格／実用数学技能検定２級以上 などに相当するもの。
学部で特に定める資料	1　「⑨課題小論文」（本学指定用紙、2,000字程度） あなたの生活圏（通学路、最寄駅周辺、学校周辺、居住地域など）で生じている、または将来的に顕在化しうると考えられる社会的課題を１つ取り上げ、その詳細を説明し、解決策を提示しなさい。 小論文の作成にあたっては、以下の項目を必ず盛り込むこと。 ⑴【課題の定義】何が、誰にとって、どの程度問題かを具体的に説明すること。 ⑵【調査内容の提示】あなた自身が行った調査（例：一定期間の現地観察、通学・移動時の気づき、利用経験など）を最低２件、本文内に記載すること。 ※調査の内容は、個人情報に配慮し文章で記載すること。 ⑶【課題の背景】この社会的課題の背景を、複数の要因から説明すること。 ⑷【解決策の提示】解決策について考察する際には、他の地域における同様の課題の事例を少なくとも１つ取り上げること。 ⑸【参考文献の提示】小論文の作成の際に用いた参考文献、参考資料の情報は小論文の最後に示すこと（記載した参考文献は文字数には含めない）。 2　「学部で特に定める基準」については、推薦書、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。
選考方法	1　第１次選考について 「②活動報告書」、「③入学志望理由書」、「⑨課題小論文」、「⑰資料説明票」、「出願資格を証明する資料」、「調査書」による書類選考を行います。 2　第２次選考について 本学部が求める学生像への資質を見出すことに主眼を置いた面接（口頭試問を含む）を行います。「⑨課題小論文」についての質疑も含みます。

参考

外国語学部

求める学生像	「外国語」を切り口に時代と社会に向き合い、国際社会のフロントランナーとなりうる人材を育成するという外国語学部の理念に賛同し、主専攻言語（英語あるいは中国語）での勉学を強く希望する者を、外国語学部は受け入れます。加えて、本学部の５つのプログラムのうちどのプログラムで何を学び、自分の将来にそれをどのように生かしたいかを具体的に表現し、自己推薦できる者を求めます。 外国語学部が求める人物像とは、高等学校での学習内容をもとに論理的思考力および日本語による文章作成能力を身につけ、入学後は、日々の研鑽と努力を惜しまず高度な外国語運用能力を獲得し、それを通じて新たな知識を吸収しようという強い意欲をもち、下記のいずれか１つを志す者です。 **A 〔中国語〕**中国語が使用される地域や社会に深い関心をもち、初修言語である中国語の修得に強い意欲をもって外国語運用能力の向上をめざす。[主専攻言語：中国語] **B 〔クロス留学〕**外国語学部の※クロス留学制度の趣旨を理解し、入学後のスタディ・アブロード・プログラム（以下「SA」という。）ではクロス留学を選択、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語あるいは朝鮮語を副専攻言語として履修し、二言語の運用能力の向上をめざす。[主専攻言語：英語] ※クロス留学（Dual Language Study Abroad Program）とは、主専攻言語である英語に加え、別のもう１つの言語の習熟をめざして設置された留学制度である。したがって、英語の優れた能力をもったうえで、もう１つの言語を学ぶ強い意欲・意思を有し、なおかつ対象言語の文化圏への旺盛な関心と問題意識をもつ学生が対象となる。 **C 〔英語教員〕**中学校・高等学校の英語教員を志望し、入学後、教職課程を履修して教員免許（英語）の取得をめざす。[主専攻言語：英語] **D 〔日本語教育〕**日本語教育に深い関心をもち、入学後、英語や中国語を主専攻として学びつつ、日本語教育に関連する科目も履修することにより、言語や社会についてのより広い視野を獲得し、多様性の時代において活躍できる能力を身につける。[主専攻言語：英語または中国語] **E 〔グローバルキャリア〕**外国語学部の５つのプログラムの趣旨を理解し、入学後、これらのプログラムの修得および関連する専門科目の履修を通して、専門知識・技能を身につけ、高い外国語運用能力が充分に活かせるグローバルなキャリアをめざす。[主専攻言語：英語または中国語] 各制度の詳細については、外国語学部パンフレットおよびホームページを参照すること。
学部で特に定める基準	「求める学生像」Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅのいずれかに該当し、それぞれに求める次の要件を満たしている者。 **A〔中国語〕** １　2026年４月１日から2027年３月31日までの間に高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および卒業見込みの者で、高等学校もしくは中等教育学校における**全体の評定平均値が3.8以上、かつ「英語」および「国語」の評定平均値がそれぞれ4.0以上**の者。 なお、「３　出願資格２－(1)」（３ページ）に該当しない者、もしくは外国における教育を受け、評定平均値が算出できない者については、評定平均値の条件は設けていません。 また、「３　出願資格２－(3)のオ」（３ページ）に該当する者は、事前に関西大学 入試センター 入試・高大接続グループまでご連絡ください。 **B〔クロス留学〕・C〔英語教員〕・D〔日本語教育〕・E〔グローバルキャリア〕** １　2026年４月１日から2027年３月31日までの間に高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および卒業見込みの者で、高等学校もしくは中等教育学校における**全体の評定平均値が3.8以上、かつ「英語に関する科目*」の評定平均値が4.2以上**の者。 なお、「３　出願資格２－(1)」（３ページ）に該当しない者、もしくは外国における教育を受け、評定平均値が算出できない者については、評定平均値の条件は設けていません。 また、「３　出願資格２－(3)のオ」（３ページ）に該当する者は、事前に関西大学 入試センター 入試・高大接続グループまでご連絡ください。 ＊「英語に関する科目」とは英語の運用能力、語彙・文法知識の向上など、英語のスキルを発達させる科目をさします（「国際理解」や「英米文化」などの科目は対象にならない場合があります）。科目に関してご不明な点がある場合は、事前に関西大学 入試センター 入試・高大接続グループへお問い合わせください。

（次ページにつづく）

	2　次に示すいずれかの資格（４技能試験に限る）を有し、証明する書類を提出できる者（2025年１月以降に受検したものを有効とする）。 なお、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。 **B〔クロス留学〕・C〔英語教員〕・D〔日本語教育〕・E〔グローバルキャリア〕** ○ **Cambridge English** B1 Preliminary（for Schoolsを含む）以上を受検し150点以上 ○ **実用英語技能検定**２級以上合格かつCSEスコア 2,100点以上（また準１級・１級の一次試験を合格したが二次試験には合格できなかった受検結果において、CSEスコア2,100点以上取得した場合は出願資格として認めます。本学部では、英検準１級・１級の試験を受検することを強く推奨しています。） ※試験実施機関が発行した**合格証明書および個人成績表（一次試験・二次試験とも）を提出してください。** ※**検定試験の条件について、複数の受検結果を組み合わせて使用することはできません。**ただし、実用英語技能検定の一次試験免除制度を利用した受検結果は、１回のものとして取り扱います。 ※S-CBT、S-Interviewも対象となります。 ○ **GTEC**（４技能）AdvancedまたはCBTを受検し1,080点以上（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る） ○ **IELTS** 5.0以上（アカデミック・モジュールに限る） ○ **TEAP**（Reading/Listening＋Writing＋Speaking）250点以上 ○ **TOEFL iBT®** 3.5以上（2026年１月20日以前に受検した場合は55点以上） ※TOEFL iBT® Home Editionは対象としません。 ※TOEFL iBT®は、Test Dateスコア（各テスト日の試験結果）のみを利用します（「MyBest® scores」は利用しません）。 ※TOEFL ITP®テストは対象となりません。 上記以外の英語外部試験のスコアを有している場合は、事前に関西大学 入試センター 入試・高大接続グループへお問い合わせください。
学部で特に定める資料	●「⑩推薦書」（本学指定用紙、高等学校・中等教育学校における担任もしくは本人をよく知る教員によるもの） ●「⑪将来設計書」（本学指定用紙、800字程度） ●「⑫課題レポート」（本学指定用紙、1,500字程度）〈A〔中国語〕のみ〉 **課題図書『女ことばと日本語』（岩波新書）中村桃子著（課題図書は各自で入手してください。）**について、あなたの考えを文章にまとめてください。 なお、第２次選考の面接（口頭試問を含む）には、本レポートに関する質問も含みます。
選考方法	１　第１次選考 出願書類による書類選考を行います。 ２　第２次選考 第２次選考実施当日に日本語で作成する「課題エッセイ（75分、1,200字程度）」と面接（口頭試問を含む）で総合的に評価します。面接（口頭試問を含む）において、A〔中国語〕では「⑫課題レポート」に関すること、B〔クロス留学〕、C〔英語教員〕、D〔日本語教育〕およびE〔グローバルキャリア〕では英語でのやり取りを含みます。
その他	〔出願に関する注意事項〕 １　A〔中国語〕、B〔クロス留学〕、C〔英語教員〕、D〔日本語教育〕およびE〔グローバルキャリア〕のうち、いずれか１つを選択してください。複数の要件で出願することはできません。 ２　B〔クロス留学〕で出願する場合は、副専攻言語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、朝鮮語）を１つ選択してください。複数の言語を選択することはできません。また、出願後に副専攻言語を変更することはできません。 ３　英語教員をめざす場合はC〔英語教員〕、日本語教員をめざす場合はD〔日本語教育〕で出願してください。 〔入学に伴う注意事項〕 １　A〔中国語〕、B〔クロス留学〕、E〔グローバルキャリア〕による出願の場合も、入学後に教職課程を履修することは可能です。 ２　C〔英語教員〕、D〔日本語教育（主専攻言語：英語）〕、E〔グローバルキャリア（主専攻言語：英語）〕で出願する場合にクロス留学を希望することも可能です。 ３　クロス留学に参加するための条件として、副専攻言語ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語を学ぶ大学はTOEFL ITP®500点、IELTS Overall 5.0相当、副専攻言語スペイン語を学ぶ大学はIELTS Overall 5.5以上を求めています。より詳細な条件は入学後に発表しますが、これらの条件を満たさない場合は、他大学でのSA参加となります。 ４　SAは卒業要件の一つのため、全員参加が必須です。 ５　SAについて、感染症や自然災害、政情、相手国・地域や提携校の事情などにより、実施できない場合があります。その場合は代替手段が講じられます。また、本人の国籍（中国語主専攻においては保護者のいずれかが日本国籍でない場合も含む）によっては、相手国の事情により、入学許可やビザ発給等が困難な場合もあります。この場合は次善の国・地域への留学となります。 ６　SAに係る詳細は関西大学外国語学部ホームページ内の「入試＆入学情報」「よくある質問」で確認してください。

参考

人間健康学部

求める学生像	1　人間健康学部での勉学を強く希望し入学を志す者。 2　人間健康学部は､教室での講義だけでなく地域と連携した様々な活動への参画等を通して、学際的で実践的なアプローチによって社会と人間の「健康」に関わる諸問題を解決できる人材の育成をめざします。 　そこで、幅広い教養と実践能力を兼ね備え、関西大学が推奨する判断力と行動力を融合した「考動力」の基盤を有し、かつ、以下のいずれかに該当する者の入学を求めます。 ⑴　スポーツや福祉に興味関心をもち、様々な活動を通じた人間形成やよりよいコミュニティの創造に意欲をもった者。 ⑵　人間健康学部での学びに必要な基礎学力とその思考力をもち、将来、地域など社会における様々な領域において、活躍・貢献したいという意欲をもった者。
学部で特に定める基準	関西大学人間健康学部を第一志望とし、強く入学を希望する者で、次の要件の１および２に該当する者。 1　高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および卒業見込みの者で、高等学校もしくは中等教育学校における**全体の評定平均値が3.5以上**の者で、以下AからCの出願型のうち、希望する出願型の基準を満たしていること。 　なお、「３　出願資格２－⑴」（３ページ）に該当しない者、もしくは外国における教育を受け、評定平均値が算出できない者については、評定平均値の条件は設けていません。 **A〔スポーツ活動実績型〕** スポーツ活動での積極的な活動を通し、広く高い評価を得ている者。 積極的な活動の例示　学校内外でのスポーツ競技において、継続的に選手として活動し、公式戦や大会での実績を有する他、主将・キャプテン等としてチームをけん引した経験、運動指導や大会運営、健康づくりイベントへの参画などを通し、広く高い評価を得ていること。 **B〔地域貢献活動評価型〕** 社会全体を考え、地域社会の課題を解決する積極的な活動を通し、社会的に高い評価を得ている者。 積極的な活動の例示　福祉施設・医療機関・保育所等でのボランティア活動の他、地域行事の企画・運営、子ども・高齢者・障がいのある人への支援、生徒会・委員会活動を通じた学校や地域への貢献などを通し、広く高い評価を得ていること。 **C〔自己推薦型〕** 学術・文化・芸術活動などさまざまな分野の積極的な活動を通し、または、高度な資格や技能を有し、社会的に高い評価を得ている者。 積極的な活動の例示　学校内外で行った探究・研究活動を踏まえた発表や論文・レポート作成の他、探究・芸術・文化等のコンテストへの出場・発表などを通し、広く高い評価を得ていること。 2　上記１のAからCの出願型に応じた特色ある活動を行ってきたことをふまえ、以下の⑴～⑶のいずれかの観点から、第三者に説明およびアピールができる者。 「⑰資料説明票」および取り組んできた特色ある活動を証明する資料を提出すること。 **例 示** 　各種協会等が発行する証明書の他、参加した大会のパンフレット、メンバー表、新聞・雑誌の記事、表彰状の写しなど ※特色ある活動を証明する資料がない場合に限り「②－３活動報告書」を提出してください。証明する資料がない活動が複数ある場合でも、「②－３活動報告書」は１部（2,000字以内）にまとめてください。なお、「②－３活動報告書」を提出する場合、「⑰資料説明票」の提出は不要です。 ※「⑰資料説明票」および特色ある活動を証明する資料を提出する場合は、「②－３活動報告書」を提出することはできません。 ※推薦書、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。 ⑴　これまで取り組んできた特色ある活動の中で感じた問題意識に関して、人間健康学部でどのようなことを主体的に学ぼうとしているか。 ⑵　これまで取り組んできた特色ある活動の成果を、人間健康学部でどのように生かすことができるか。 ⑶　これまで取り組んできた特色ある活動について、人間健康学部に入学することでどのように発展させられるか。
選考方法	1　第１次選考について 　「③入学志望理由書」、「調査書」、「出願資格を証明する書類」（②活動報告書、⑰資料説明票）による書類選考を行います。 2　第２次選考について 　選考日当日に行う次のアおよびイにより、総合的に評価します。 　ア　小論文（90分、1,200字程度） 　イ　「グループワーク」を踏まえた面接（口頭試問およびプレゼンテーションを含む）
その他	出願に際しては、「学部で特に定める基準」AからCの出願型のいずれか１つのみを選択してください。複数の出願型に出願することはできません。

参考

総合情報学部

求める学生像	1　総合情報学部での勉学を強く希望し入学を志す者。 2　本学部は、問題解決能力と情報リテラシーを兼ね備えた人材の育成をめざしています。 　将来、本学部で学んだ知識をフルに活用し、本学や社会に貢献しようとする学生や高い目的意識をもった学生を歓迎しています。特に、AO入試による選抜では、大学教育を受けるにふさわしい基礎学力があり、かつ、広く社会に評価される活動も評価して、優秀な人物を受け入れることを主眼としています。

【活動実績評価型】

学部で特に定める基準	次の１から３の要件を満たしている者。 1　総合情報学部への志望理由や入学後に学びたい内容、ビジョンが明確であり、本学部での勉学を強く希望し入学を志す者。 2　高等学校もしくは中等教育学校卒業（または大学入学資格を取得した年度）以前に、次の⑴および⑵を１つ以上満たしている者で、その技能・活動実績を本学部入学後の学習や学生生活にどのように活かせるかを自己アピールできる者。 ⑴　高度な資格や技能を有し、高い評価を得ている者で、かつ実績を証明する資料を提出できる者。 ⑵　学術・文化・芸術・スポーツ活動などさまざまな分野において、研究、創作発表、コンクール、競技などの活動を通し、広く高い評価を得ている者で、かつ実績を証明する資料を提出できる者。 なお、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。 3　2025年４月１日から2027年３月31日までの間に、高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および卒業見込みの者で、高等学校もしくは中等教育学校における**全体の評定平均値が3.5以上**の者。 　なお、「３　出願資格２－⑴」（３ページ）に該当しない者、もしくは外国における教育を受け、評定平均値が算出できない者については、評定平均値の条件は設けていません。
選考方法	1　第１次選考について 　「②活動報告書」、「③入学志望理由書」、「⑰資料説明票」、「出願資格を証明する資料」、「調査書」による書類選考を行います。 2　第２次選考について 　本学部が求める学生像への資質を見出すことに主眼をおいた面接（口頭試問を含む）を行います。
その他	【情報リテラシー評価型】との併願は認めません。

【情報リテラシー評価型】

学部で特に定める基準	次の１および２の要件を満たしている者。 1　総合情報学部への志望理由や入学後に学びたい内容、ビジョンが明確であり、本学部での勉学を強く希望し入学を志す者。 2　2025年４月１日から2027年３月31日までの間に、高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および卒業見込みの者で、高等学校もしくは中等教育学校における**全体の評定平均値が3.5以上**の者。 　なお、「３　出願資格２－⑴」（３ページ）に該当しない者、もしくは外国における教育を受け、評定平均値が算出できない者については、評定平均値の条件は設けていません。
学部で特に定める資料	●「⑬課題レポート」（本学指定用紙、1,500字程度（図表等を除く）） 　設定された課題について､自分なりの考えや着想を盛り込んでレポートを作成してください。
選考方法	1　第１次選考について 　「③入学志望理由書」、「⑬課題レポート」、「調査書」による書類選考を行います。 2　第２次選考について 　第２次選考実施日当日に出題する「情報リテラシーを問う課題」について、本学部の実習教室のパソコンで発表用資料の作成（110分程度）、プレゼンテーション（１人５分）、グループディスカッション（60分程度）を行い、評価します。 利用できるコンピュータ環境 オペレーティングシステム：Windows 11(ただし、タッチパネルによる操作はできません。) ブ ラ ウ ザ：Google Chrome、Microsoft Edge、Firefox （Canva等のWEBアプリ、生成AIを資料作成に使用しても構いません。WEBアプリ等の認証に必要な場合に限り、試験開始前に一時的にスマートフォン等を使用することを許可します。いかなる場合も、試験中に第三者と連絡をとることは認めません。） ソフトウェア：Microsoft Office 2024（Word, Excel, PowerPoint）
その他	【活動実績評価型】との併願は認めません。

参考

社会安全学部【考動力評価型】

求める学生像	1　社会安全学部での勉学を強く希望し、入学を志す者。 2　「考動力（自ら考えて行動する力）」を備え、「安全・安心」、「防災・減災」、「事故防止」、「危機管理」に関する諸問題の解決に積極的に取り組む意欲のある者。
学部で特に定める基準	1　関西大学社会安全学部を第一志望とし、強く入学を希望する者。 2　高等学校もしくは中等教育学校における**全体の評定平均値が3.5以上**の者。 なお、「3　出願資格２－⑴」（３ページ）に該当しない者、もしくは外国における教育を受け、評定平均値が算出できない者については、評定平均値の条件は設けていません。
学部で特に定める資料	第２次選考のプレゼンテーションで用いる「説明資料の写し」（Ａ３サイズ程度に縮小したもの）の提出が必要です。第２次選考におけるプレゼンテーションの詳細については、「選考方法」を確認してください。 **説明資料について** 模造紙サイズ（788×1091mm）１枚で作成してください。 手書きでも大判プリンタ等で印刷したものでも構いません。また、説明資料上に写真や印刷した紙を貼り付けても構いません。ただし、万一、第２次選考当日にそれらのものが剥がれた場合であっても糊やテープ等を貸し出すことはしません。しっかりと貼り付けるようにしてください。 説明資料は、３メートル程度離れた場所からもその内容が判読できるように作成してください。 **「説明資料の写し」について** 出願の際には、上記の説明資料の写しを提出してください。 サイズについては、Ａ３サイズ（297×420mm）程度に縮小してください。**写しの裏面には高等学校名および氏名を記載してください。** 提出する写しは、説明資料を撮影した写真（プリンタで印刷したものを含む）でも構いません。その際は、内容が判読できるように撮影してください。 なお、第２次選考の際に用いる説明資料については、この写しと同一である必要はありません。出願後に得られた成果などに基づいて加筆・修正いただいて構いません。
選考方法	1　第１次選考について 「③入学志望理由書」、「説明資料の写し」、「調査書」による書類選考を行います。 2　第２次選考について 次の⑴および⑵に基づき、総合的に評価します。 ⑴　小論文（90分） （統計資料および簡単な英文の読解に基づくもの） ⑵　面接（説明資料を用いたプレゼンテーション５分以内・口頭試問10分） **プレゼンテーションについて** 自分自身が社会安全学部で学ぶにふさわしい「考動力（自ら考えて行動する力）」を備えた人物であることをプレゼンテーションしていただきます。プレゼンテーションのテーマは自由ですが、なぜそのテーマに自ら取り組もうと考え、どのように行動してきたか、そして、その「考動力」を社会安全学部における学びにどのように関連づけようと考えているかを説明資料を用いて具体的に説明していただきます。説明時間は５分以内で、延長は認めません。 説明資料以外のものを持ち込んでプレゼンテーションを行うことは認めません。ただし、以下のものは面接を行う試験室で全員に提供します。 ・説明資料を掲示するための掲示板等 ・説明資料を掲示するための磁石等 ・説明資料を指し示すための指示棒

ご参考

ビジネスデータサイエンス学部

求める学生像	1　ビジネスデータサイエンス学部での勉学を強く希望し入学を志す者。 2　本学部は、ビジネスとデータサイエンスの両分野に関する基礎的な理論と知識を身に付け、それらをビジネスの現場に適用させ、課題解決と価値創出を実現する「ビジネスデータサイエンティスト」の育成をめざしています。AO入試では、大学教育を受けるにふさわしい基礎学力があり、かつ、広く社会に評価される活動等に取り組んでいる優秀な人物を受け入れることを主眼としています。
学部で特に定める基準	次の１から３の要件を満たしている者。 1　ビジネスデータサイエンス学部への志望理由や入学後に学びたい内容、ビジョンが明確であり本学部での勉学を強く希望し入学を志す者。 2　次の⑴～⑸を１つ以上満たしている者で、その技能・活動実績等を本学部入学後の学習や学生生活にどのように活かせるかを自己アピールできる者。 ⑴　**各種コンペティションや競技プログラミング大会で優れた実績をあげた者。** 全国レベルの各種コンペティションや競技プログラミング大会で予選通過や本選出場した者。また、団体で参加した場合は、リーダーとしての役割を果たした者とします。ただし、リーダー以外のメンバーであってもチーム内における役割が明確であり、チームに必要不可欠な役割を果たしたことを証明できる場合にはこの限りではありません。 〈全国レベルの各種コンペティションの例〉 ○日本情報オリンピック　○夏の電脳甲子園 ○パソコン甲子園　○U-22プログラミング・コンテスト ○日本学生科学賞（情報・技術、応用数学）中央予備審査通過者 ⑵　**外国において、外国の学校教育制度に基づく課程で、継続して１年以上の課程を修了し（2027年３月までに修了する見込みの者を含む）、かつ、特色ある異文化体験（例：学術、スポーツ活動、社会〔ボランティア〕活動、福祉活動など）をもつ者。** 「⑰資料説明票」および特色ある異文化体験を証明する資料を提出すること。 ※特色ある異文化体験を証明する資料がない場合に限り「②－４活動報告書」に代えることができます。その場合、「⑰資料説明票」の提出は不要です。 ⑶　**国際バカロレア資格（フルディプロマ）を取得した者または2027年３月31日までに取得見込みの者。** ただし、「日本語と英語によるデュアルランゲージ・ディプロマ・プログラム」以外のプログラムによる場合は、言語Aを日本語により履修し、成績評価が４以上の者に限ります。 ⑷　**高度な資格や技能を有し、高い評価を得ている者で、かつ実績を証明する資料を提出できる者。** **例示** 〈英語〉実用英語技能検定準１級以上（CBT、S-CBT、S-Interviewも対象）の資格を取得している者、GTEC（４技能）1,100点以上（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る）の者、TOEFL iBT® 4.0以上（2026年１月20日以前に受検した場合は72点以上）の者、TOEIC® L&R740点以上の者等。 ※TOEFL iBT® Home Editionは対象としません。 ※TOEFL iBT®は、Test Dateスコア（各テスト日の試験結果）のみを利用します（「MyBest® scores」は利用しません）。 ※TOEFL ITP®テストおよびTOEIC® L&R/S&W IPテストは対象となりません。 〈簿記〉日商簿記検定試験１級取得者、または日商簿記検定試験１級４科目の合計点が50点以上の者等。 〈情報〉独立行政法人情報処理推進機構応用情報技術者試験に合格している者、情報処理技能検定２級以上の者、統計検定２級以上または日本情報オリンピック本選Bランク以上の者等。 〈数学〉日本数学オリンピック予選Bランク以上の者、または実用数学技能検定準１級以上の者等。 〈文章力〉文章読解・作成能力検定２級の者等。

（次ページにつづく）

	⑸ **学術・文化・芸術などさまざまな分野において、研究、創作発表、コンクールなどの活動を通し、広く高い評価を得ている者で、かつ実績を証明する資料を提出できる者。** ３　2025年４月１日から2027年３月31日までの間に、高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および卒業見込みの者（ただし、2027年４月１日現在において満23歳未満の者）で、高等学校もしくは中等教育学校における**全体の評定平均値が3.5以上**の者。 なお、「３　出願資格２－⑴」（３ページ）に該当しない者、もしくは外国における教育を受け、評定平均値が算出できない者については、評定平均値の条件は設けていません。
学部で特に定める資料	１「学部で特に定める基準」の２については、出願資格を証明する資料を提出してください。なお、推薦書、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。 ２「学部で特に定める基準」の２－⑴については、全国レベルの各種コンペティションや競技プログラミング大会に団体で参加した場合は、リーダーとしての役割を果たしたことを示す学校長発行の証明書を提出してください。なお、リーダー以外のメンバーであってもチーム内における役割が明確であり、チームに必要不可欠な役割を果たした場合は、そのことを示す学校長発行の証明書を提出してください。 ３「学部で特に定める基準」の２－⑶については、以下の国際バカロレア資格に関する証明書等を提出してください。 〈国際バカロレア資格を取得した者〉 「国際バカロレア資格証明書の写し（コピー）」および「国際バカロレア最終試験６科目の成績評価証明書」 〈国際バカロレア資格を取得見込みの者〉 「⑲国際バカロレア資格取得見込証明書 兼 最終成績予測スコア証明書」（本学指定用紙） 国際バカロレア資格を取得見込みの者は、本入試での合格後、2027年１月31日（日）までに「国際バカロレア資格証明書の写し（コピー）」および「国際バカロレア最終試験６科目の成績評価証明書」を関西大学 入試センター 入試・高大接続グループ（〒564-8680　大阪府吹田市山手町３丁目３番35号）へ提出してください。 ４　その他、出願後に追加書類を求めることがあります。
選考方法	１　第１次選考について 第１次選考では、指定した出願書類をもとに、書類選考を行います。 ２　第２次選考について 提出書類に基づき面接（口頭試問を含む）を行います。

ご参考

システム理工学部

求める学生像	1　システム理工学部の志望学科での勉学を強く希望し入学を志す者。 2　本学部では、理工学に対する広い基礎知識に立脚しながらも、その知識にとらわれない自由な発想のできる活力と独創性にあふれた技術者・研究者の養成をめざしています。このため、AO入試では、理工学の基盤となる高校課程の数学と理科の知識を十分に習得していることに加え、「単に知識を蓄えるだけでなく自ら考えることのできる学生」、「好奇心が強く新しい事象を学んだり生み出したりすることに喜びを感じることのできる学生」などを受け入れることを望んでいます。 **【活動実績評価型】** 活動実績評価型では、上記１・２に加えて、「理工学を通して社会に貢献しようとする目的意識の強い学生」などを受け入れることを望んでいます。したがって、受験のための勉学だけでなく、広く社会的に認められたその他の活動についても評価し、学力・人物ともに優れた人材の入学を期待しています。 **【データサイエンス型】（電気電子情報工学科のみ）** データサイエンス型では、上記１・２に加えて、「データサイエンス、AI・IoT、センシング、組み込みソフトウェアなどに関する専門技術を学び、新しいデータ分析やシステム開発に携わりたいという強い目的意識を持つ学生」を受け入れることを望んでいます。したがって、受験のための勉学だけでなく、データサイエンス、AI・IoTに対する自らのこれまでの学び、データ分析やソフトウェア制作の経験とプログラミング技術などを評価し、学力・人物ともに優れた人材の入学を期待しています。

【活動実績評価型】

学部で特に定める基準	次の１および２の要件を満たしている者。 1　高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および卒業見込みの者で、高等学校もしくは中等教育学校における**全体の評定平均値が3.5以上**である者。 なお、「３　出願資格２－(1)」（３ページ）に該当しない者、もしくは外国における教育を受け、評定平均値が算出できない者については、評定平均値の条件は設けていません。 2　次の(1)または(2)のいずれかの要件を満たしている者。 (1)　学術活動などの分野において活躍している者で、かつこれを証明する資料（各種協会等が発行する証明書等）*を提出できる者。 (2)　高度な資格や技能を有し、社会的に高い評価を得ている者で、かつこれを証明する資料（各種協会等が発行する証明書等）*を提出できる者。 ＊出願資格を証明する資料は、たとえば、各種協会等の証明書、新聞、雑誌の記事、表彰状の写し、DVD-RまたはCD-R（データ追記ができないもの）に記録した資料などです。 **例 示** 注）活動・資格などの具体例は一部の例であり、これに限定するものではありません。 また、このような活動・資格の有無によってのみ合否判定を行うものではありません。 ・SSH（スーパーサイエンスハイスクール）での活動における極めて優れた研究成果 ・本学部が実施するセミナーなどの活動における優れた成果 ・日本数学オリンピック、物理チャレンジ、サイエンスキャンプ、ロボットコンテストなどの科学技術に関する行事での優れた成果実績 ・実用数学技能検定準１級、情報処理技術者試験（レベル３）などの資格の取得
学部で特に定める資料	●「②－５活動報告書」（本学指定用紙、2,000字以内） 「自らが誇りをもって第三者に説明・アピールできる事柄」に関しての活動と成果について記述するもので、その活動を通して得たものが、今後の学習意欲や大学での学生生活とどのように結びついているかを含めて記述することが望ましい。
選考方法	1　第１次選考について 「②活動報告書」、「③入学志望理由書」、「⑰資料説明票」、「出願資格を証明する資料」、「調査書」による書類選考を行います。 2　第２次選考について 口頭試問を含む個人面接を行います。
その他	【データサイエンス型】との併願は認めません。

（次ページにつづく）

参考

システム理工学部（つづき）
【データサイエンス型】（電気電子情報工学科のみ）

学部で特に定める基準	次の１および２の要件を満たしている者。 １　高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および卒業見込みの者で、高等学校もしくは中等教育学校における**全体の評定平均値が3.5以上**である者。 なお、「３　出願資格２－⑴」（３ページ）に該当しない者、もしくは外国における教育を受け、評定平均値が算出できない者については、評定平均値の条件は設けていません。 ２　次の⑴から⑶の要件を満たしている者。 ⑴ システム理工学部 電気電子情報工学科での勉学を強く希望し入学を志す者。 ⑵ データサイエンス、AI・IoTに関する深い知識と、データ分析手法やシステム開発に携わりたいという意欲を、自らのこれまでの学びに基づいて強く説明・アピールできる者。 ⑶ プログラミング言語を用いてデータ分析やソフトウェア制作を行った経験があり、自らのプログラミング技術を説明・アピールできる者。
学部で特に定める資料	●データ分析やソフトウェア制作を行った経験をまとめた「⑭課題レポート」（本学指定用紙、1,200字程度（図表等を除く）） ●自身が作成したソフトウェアのソースコード（300行以上、CD-Rまたは紙で印刷したもので提出、共同で作成した場合は、自身が作成した部分を明示） 〈CD-Rで提出する場合の注意事項〉 ソースコードはプレーンテキストにして、テキストファイル（.txt）形式でCD-R（データ追記ができないもの）に記録してください。 〈紙で印刷したもので提出する場合の注意事項〉 Ａ４用紙（タテ）片面印刷（各ページにページ番号を記載）の任意様式で提出してください。
選考方法	１　第１次選考について 「③入学志望理由書」、「⑭課題レポート」、「ソースコード」、「調査書」による書類選考を行います。 ２　第２次選考について 「⑭課題レポート」と「ソフトウェアのソースコード」に関するパワーポイントを用いたプレゼンテーション（５分）と、それに対する面接（口頭試問を含む）を行います。 【パワーポイントについて】 ⑴ 第２次選考日までに「⑭課題レポート」と「ソフトウェアのソースコード」に関するパワーポイントを作成してください。 また、スライドは「プレゼンテーション（５分）」に相当する枚数を想定して作成してください。 ⑵ 作成したパワーポイントをUSBメモリに保存し、第２次選考日当日持参してください。 なお、万一の機材トラブル等に備えて、パワーポイントを白黒印刷で５部出力し、第２次選考日当日に持参してください。 ※パワーポイントの印刷方法 Ａ４用紙（タテ）に、１枚あたり２スライドが入るように印刷（両面印刷、ホッチキス留め）してください。 ⑶ 選考日当日、本学で用意したパソコン、プロジェクタおよびレーザーポインタを使用し、パワーポイントを投影してプレゼンテーションを行ってください。 ※本学で用意するパソコンのOSはWindowsに限ります。
その他	【活動実績評価型】との併願は認めません。

ご参考

環境都市工学部

求める学生像	1　環境都市工学部の志望学科での勉学を強く希望し入学を志す者。 2　本学部では、環境都市工学に対する広い基礎知識に立脚しながらも、その知識にとらわれない自由な発想のできる活力と独創性にあふれた技術者・研究者の養成をめざしています。このため、AO入試では、工学の基盤となる高校課程の数学と理科の知識を十分に習得していることに加え、「単に知識を蓄えるだけでなく自ら考えることのできる学生」、「好奇心が強く新しい事象を学んだり生み出したりすることに喜びを感じることのできる学生」などを受け入れることを望んでいます。 **【活動実績評価型】** 活動実績評価型では、上記１・２に加えて、「工学を通して社会に貢献しようとする目的意識の強い学生」などを受け入れることを望んでいます。したがって、受験のための勉学だけでなく、広く社会的に認められたその他の活動についても評価し、学力・人物ともに優れた人材の入学を期待しています。 **【SDGs型】** SDGs型では、上記１・２に加えて、「SDGsという新しいアプローチに強い関心を示し、その考え方をもって社会変革に自らの力で貢献しようとする目的意識の強い学生」などを受け入れることを望んでいます。したがって、受験のための勉学だけでなく、SDGsに対する深い知識、現在のまちづくりにおける課題の解決とめざすべき将来像の実現に対する意見、それらに取り組む行動意欲などを評価し、学力・人物ともに優れた人材を期待しています。

【活動実績評価型】

学部で特に定める基準	次の要件を満たしている者。 自らが誇りをもって第三者に説明・アピールできる事柄をもつと思う者で、次の１または２を１つ以上満たしている者。 1　学術・文化・芸術活動などさまざまな分野において活躍している者で、かつこれを証明する資料（各種協会等が発行する証明書等）*を提出できる者。 2　高度な資格や技能を有し、社会的に高い評価を得ている者で、かつこれを証明する資料（各種協会等が発行する証明書等）*を提出できる者。 ＊出願資格を証明する資料は、たとえば、各種協会等の証明書、新聞、雑誌の記事、表彰状の写し、DVD-RまたはCD-R（データ追記ができないもの）に記録した資料などです。 **例示** ア　学術、課外活動における優れた実績 イ　独自のアイデアによる創作活動や独創的な発明 ウ　語学あるいはコンピュータなど各種の資格 エ　文化活動やボランティア活動など
学部で特に定める資料	●「②－５活動報告書」（本学指定用紙、2,000字以内） 「自らが誇りをもって第三者に説明・アピールできる事柄」に関しての活動と成果について記述するもので、その活動を通して得たものが、今後の学習意欲や大学での学生生活とどのように結びついているかを含めて記述することが望ましい。
選考方法	1　第１次選考について 「②活動報告書」、「③入学志望理由書」、「⑰資料説明票」、「出願資格を証明する資料」、「調査書」による書類選考を行います。 2　第２次選考について 口頭試問を含む個人面接を行います。
その他	【SDGs型】との併願は認めません。

ご参考

（次ページにつづく）

学部で特に定める基準

次の１から４の要件を満たしている者。
１　環境都市工学部での勉学を強く希望し入学を志す者。
２　SDGsに関する深い知識と、その手法を用いてまちづくりの課題解決、目標とする将来像の実現に携わりたいという意欲を、自らのこれまで学んだことに基づいて強く説明・アピールできる者。
３　国際社会あるいは地域社会に対する貢献に強い意欲を有する者。
４　高等学校または中等教育学校における履修科目が、次の基準を満たしている者。
　なお、「数学」および「理科」の履修基準は、下表に示す各科目において、（　）内に記載する高等学校学習指導要領の標準単位数（以上）を修得または履修していることを想定しています。教育課程の編成内容等により、下表に示す履修基準と比較し、調査書に記載される科目名が異なる場合または単位数がこれを下回る場合は、出願に先立ち、必ず（注３）に記載の【申請方法】に従い、所定の期日までにメールにて申請してください。

教　科	履 修 基 準 （注１）～（注３）も確認してください。
外国語	英語コミュニケーションⅠまたは総合英語Ⅰ、英語コミュニケーションⅡまたは総合英語Ⅱの２科目を修得または履修していること
数　学	数学Ⅰ（２単位）、数学Ⅱ（４単位）、数学Ⅲ（３単位）、数学A（２単位）、数学B（２単位）および数学C（２単位）の６科目を修得または履修していること
理　科	物理基礎（２単位）、物理（４単位）、化学基礎（２単位）、化学（４単位）の４科目を修得または履修していること

（注１）「理数科」については、高等学校理数科の「数学」および「理科」に関する科目を、文部科学省の定めたとおり、読み替えます。
（注２）「理科教育重点校(SSHを含む)」において独自の科目を設定している場合、「外国語」「数学」「理科」の上記履修基準に示す科目に相当するものについては、読替を認めます。この場合、出願時に提出する調査書の備考欄に詳細を明記するか、または別途文書を提出してください。
（注３）「理科教育重点校(SSHを含む)」以外の高等学校もしくは中等教育学校で、「外国語」「数学」「理科」で上記履修基準に示す科目以外を修得または履修している場合、または「数学」「理科」の各科目において（　）内に記載する単位数を下回る場合は、高等学校等で履修した科目が本学の履修基準に示す科目に相当するか（読替の可否）および出願の可否について、事前に確認する必要があります。そのため、以下の【申請方法】に従い、必ず申請してください。
※中高一貫校等において、上記履修基準に示す科目を中学校段階で修得している場合や、発行される調査書に科目名および単位数が記載されない場合も同様とします。
【申請方法】
メール件名を「2027年度AO入試 科目読替申請（△△高校）」とし、
stem-course@ml.kandai.jp宛に、以下のとおり申請してください。
■メール本文記載事項（送信者情報）
①高等学校・学科名、②送信者名（または出願（予定）者氏名）、③連絡先（電話番号等）
■添付書類
①添書(読替の概要)　例：「数学B(１単位)および数学B演習(１単位)⇒数学B(２単位)」
②高等学校（学科）の教育課程表
③読替を希望する科目のシラバス（授業計画）等
■申請期日
2026年８月24日（月）まで
期日までに申請がない場合は、出願を受け付けません。

学部で特に定める資料

●「⑮課題レポート」（本学指定用紙、1,200字程度（図表等を除く））

　SDGsの17の目標の中から１つ以上を選び、それらと関連づけながら、上記の学部で特に定める基準１～３に関する内容について記述するもので、その知識や意欲あるいは活動実績が、今後の学習や大学での学生生活とどのように結びついているかを含めて記述することが望ましい。
　なお、SDGsの目標は、希望する学科に応じて、次の中から選ぶこと。
建築学科：３、９、11、15
都市システム工学科：３、９、11、13
エネルギー環境・化学工学科：６、７、９、12、13
※なお、SDGsの17の目標については、例えば、国際連合広報センターのホームページ（https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/）などを参照してください。

（次ページにつづく）

環境都市工学部（つづき）

選考方法	1　第１次選考について 「③入学志望理由書」、「⑮課題レポート」、「調査書」による書類選考を行います。 2　第２次選考について 「⑮課題レポート」に関するパワーポイントを用いたプレゼンテーション（５分）と、それに対する面接（口頭試問を含む）を課します。 【パワーポイントについて】 ⑴ 第２次選考日までに「⑮課題レポート」に関するパワーポイントを作成してください。また、スライドは「プレゼンテーション（５分）」に相当する枚数を想定して作成してください。 ⑵ 作成したパワーポイントをUSBメモリに保存し、第２次選考日当日持参してください。なお、万一の機材トラブル等に備えて、パワーポイントを白黒印刷で５部出力し、第２次選考日当日持参してください。 ※パワーポイントの印刷方法 Ａ４用紙（タテ）に、１枚あたり２スライドが入るように印刷（両面印刷、ホッチキス留め）してください。 ⑶ 選考日当日、本学で用意したパソコン、プロジェクタおよびレーザーポインタを使用し、パワーポイントを投影してプレゼンテーションを行ってください。 ※本学で用意するパソコンのOSはWindowsに限ります。
その他	【活動実績評価型】との併願は認めません。

ご参考

化学生命工学部

求める学生像	1　化学生命工学部の志望学科での勉学を強く希望し入学を志す者。 2　本学部では、化学・物質工学あるいは生命・生物工学に根ざした『ものづくり』に対する広い基礎知識に立脚しながらも、その知識にとらわれない自由な発想のできる活力と創造性にあふれた技術者・研究者の養成をめざしています。このため、各募集型で以下の人材の入学を期待しています。 **【探究評価型】** 探究評価型では、工学の基盤となる高校課程の数学と理科の知識を十分に習得していることに加え、考動力、論理的思考力、問題発見・解決能力、およびコミュニケーション能力を有し、「化学・物質工学あるいは生命・生物工学に根ざした『ものづくり』を通して社会に貢献しようとする目的意識の強い学生」、「好奇心が強く新しい事象を学んだり生み出したりすることに喜びを感じることのできる学生」などを受け入れることを望んでいます。したがって、受験のための勉学だけでなく、探究活動についても評価し、学力・人物ともに優れた人材の入学を期待しています。 **【実績評価型】（化学・物質工学科のみ）** 実績評価型では、工学の基盤となる高校課程の数学と理科の知識を十分に習得していることに加え、「単に知識を蓄えるだけでなく自ら考えることのできる学生」、「化学・物質工学に根ざした『ものづくり』を通して社会に貢献しようとする目的意識の強い学生」、「好奇心が強く新しい事象を学んだり生み出したりすることに喜びを感じることのできる学生」などを受け入れることを望んでいます。したがって、受験のための勉学だけでなく、広く社会的に認められたその他の活動についても評価し、学力・人物ともに優れた人材の入学を期待しています。 **【関大メディカルポリマー（KUMP）型】（化学・物質工学科のみ）** 関大メディカルポリマー（KUMP）型では、工学の基礎となる高校課程の数学と理科の学習内容を十分習得していることに加えて、特に「関大メディカルポリマー（KUMP）の研究内容と関連した材料やしくみの設計を通した『ものづくり』によって社会に貢献する目的意識の強い学生」、「好奇心が強く新しい事象を学んだり新しい価値を生み出したりすることに喜びを感じることのできる学生」、「単に知識を増やすだけでなく自ら考えることのできる学生」を受け入れます。したがって、受験のための勉強ではなく、材料化学・工学・医療の境界領域で学ぶことに意欲的で、「人に届く」医療器材の開発を通じて社会へ貢献したいという高い志をもつ、学力・人物ともに優れた人材の入学を期待しています。

【探究評価型】

学部で特に定める基準	次の１および２を満たしている者。 1　実験・調査・観察などによりデータを収集し、新たな知見を得ようとした探究活動を行った者で、自ら誇りをもって第三者に説明・アピールできる成果をもつ者。 2　次の⑴～⑶の探究活動の成果物を１つ以上提出できる者。 なお、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は探究活動の成果物としては取り扱いません。 ⑴ 探究学習でまとめた論文やレポート ⑵ 学会や研究会、探究学習の報告会等で発表した際のポスターやプレゼンテーション資料 ※学会や研究会、探究学習の報告会のプログラムおよび要旨がある場合はあわせて提出してください。また、表彰を受けた場合は、探究活動の成果物に加えて表彰状等の写しを提出することができます。 ⑶ 学協会誌や紀要等に発表した論文 **探究活動の例示** ア　高等学校での探究学習や課題研究において自身が主体となって行った実験など イ　課外活動において自身が主体となって行った実験など ウ　独自のアイデアによる独創的な発明

（次ページにつづく）

化学生命工学部（つづき）

学部で特に定める資料	● 「②－５活動報告書」（本学指定用紙、2,000字以内） 「自らが誇りをもって第三者に説明・アピールできる探究活動」に関して、その活動と成果について記述するもので、その活動を通して得たものが、今後の学習意欲や大学での学生生活とどのように結びついているかを含めて記述することが望ましい。探究活動が複数名のグループでの活動である場合、自身の役割や担当箇所等の説明が必要である。
選考方法	1　第１次選考について 「②活動報告書」、「③入学志望理由書」、「⑰資料説明票」、「出願資格を証明する資料」（探究活動の成果物）、「調査書」による書類選考を行います。 2　第２次選考について 口頭試問を含む個人面接を行います。
その他	【実績評価型】・【関大メディカルポリマー(KUMP)型】との併願は認めません。

【実績評価型】（化学・物質工学科のみ）

学部で特に定める基準	次の要件を満たしている者。 自らが誇りをもって第三者に説明・アピールできる事柄をもつと思う者で、次の１または２の１つ以上を満たしている者で、かつ３を満たしている者。 1　文化・芸術活動などさまざまな分野において活躍している者で、かつこれを証明する資料（各種協会等が発行する証明書等）*を提出できる者。 2　高度な資格や技能を有し、社会的に高い評価を得ている者で、かつこれを証明する資料（各種協会等が発行する証明書等）*を提出できる者。 ＊出願資格を証明する資料は、たとえば、各種協会等の証明書、新聞、雑誌の記事、表彰状の写し、DVD-RまたはCD-R（データ追記のできないもの）に記録した資料などです。 3　上記１・２の活動や資格・技能と、化学・物質工学科における勉学との結びつきがアピールできること。 **例示** ア　課外活動における優れた実績 イ　語学あるいはコンピュータなど各種の資格 ウ　文化・芸術活動やボランティア活動など
学部で特に定める資料	● 「②－５活動報告書」（本学指定用紙、2,000字以内） 「自らが誇りをもって第三者に説明・アピールできる事柄」に関しての活動と成果について記述するもので、その活動を通して得たものが、今後の学習意欲や大学での学生生活とどのように結びついているかを含めて記述することが望ましい。
選考方法	1　第１次選考について 「②活動報告書」、「③入学志望理由書」、「⑰資料説明票」、「出願資格を証明する資料」、「調査書」による書類選考を行います。 2　第２次選考について 口頭試問を含む個人面接を行います。
その他	【探究評価型】・【関大メディカルポリマー（KUMP）型】との併願は認めません。

（次ページにつづく）

ご参考

化学生命工学部（つづき）

【関大メディカルポリマー（KUMP）型】（化学・物質工学科のみ）

学部で特に定める基準

次の１から３の要件を満たしている者。

１　化学生命工学部 化学・物質工学科での勉学を強く希望し入学を志す者。

２　医療機器や医療用材料に関する知識とその開発に携わりたいという意欲を、自らのこれまでの学びに基づいて強く説明・アピールできる者。

３　高等学校または中等教育学校における履修科目が、次の基準を満たしている者。

なお、「数学」および「理科」の履修基準は、下表に示す各科目において、（　）内に記載する高等学校学習指導要領の標準単位数（以上）を修得または履修していることを想定しています。教育課程の編成内容等により、下表に示す履修基準と比較し、調査書に記載される科目名が異なる場合または単位数がこれを下回る場合は、出願に先立ち、必ず（注３）に記載の【申請方法】に従い、所定の期日までにメールにて申請してください。

教　科	履 修 基 準 （注１）～（注３）も確認してください。
外国語	英語コミュニケーションⅠまたは総合英語Ⅰ、英語コミュニケーションⅡまたは総合英語Ⅱの２科目を修得または履修していること
数　学	数学Ⅰ（２単位）、数学Ⅱ（４単位）、数学Ⅲ（３単位）、数学A（２単位）、数学B（２単位）および数学C（２単位）の６科目を修得または履修していること
理　科	物理基礎（２単位）、物理（４単位）、化学基礎（２単位）、化学（４単位）の４科目を修得または履修していること

（注１）「理数科」については、高等学校理数科の「数学」および「理科」に関する科目を、文部科学省の定めたとおり、読み替えます。

（注２）「理科教育重点校(SSHを含む)」において独自の科目を設定している場合、「外国語」「数学」「理科」の上記履修基準に示す科目に相当するものについては、読替を認めます。この場合、出願時に提出する調査書の備考欄に詳細を明記するか、または別途文書を提出してください。

（注３）「理科教育重点校(SSHを含む)」以外の高等学校もしくは中等教育学校で、「外国語」「数学」「理科」で上記履修基準に示す科目以外を修得または履修している場合、または「数学」「理科」の各科目において（　）内に記載する単位数を下回る場合は、高等学校等で履修した科目が本学の履修基準に示す科目に相当するか（読替の可否）および出願の可否について、事前に確認する必要があります。そのため、以下の【申請方法】に従い、必ず申請してください。

※中高一貫校等において、上記履修基準に示す科目を中学校段階で修得している場合や、発行される調査書に科目名および単位数が記載されない場合も同様とします。

【申請方法】

メール件名を「2027年度AO入試 科目読替申請（△△高校）」とし、

stem-course@ml.kandai.jp宛に、以下のとおり申請してください。

■メール本文記載事項（送信者情報）

①高等学校・学科名、②送信者名（または出願（予定）者氏名）、③連絡先（電話番号等）

■添付書類

①添書（読替の概要）　例：「数学B（１単位）および数学B演習（１単位）⇒数学B(２単位)」

②高等学校（学科）の教育課程表

③読替を希望する科目のシラバス（授業計画）等

■申請期日

2026年８月24日（月）まで

期日までに申請がない場合は、出願を受け付けません。

学部で特に定める資料

●「⑯課題レポート」（本学指定用紙、1,200字程度（図表等をのぞく））

「関西大学入学試験情報総合サイト Kan-Dai web」から関大メディカルポリマー（KUMP）に関するWEB講義を聴講し、その講義内容をまとめてください。

https://www.nyusi.kansai-u.ac.jp/admission/ao/

『Kan-Dai web』のトップページ 〉入試情報 〉AO入試

※上記ページの【2027年度 入試要項・出願書類】欄にある【WEB講義動画】から聴講できます。

なお、第２次選考の面接（口頭試問を含む）には、本レポートに関する質問も含みます。

選考方法

１　第１次選考について

「③入学志望理由書」、「⑯課題レポート」、「調査書」による書類選考を行います。

２　第２次選考について

第２次選考実施日当日にセミナー（60分）を受講し当日配付するレポート用紙にセミナーの概要をまとめ、提出していただきます。提出されたレポートと出願書類を基に面接(口頭試問を含む）を行います。

その他

【探究評価型】・【実績評価型】との併願は認めません。

見本

5　出願手続・入学検定料

出願の流れ

❶インターネットで出願(データ登録）する ▶ ❷入学検定料を納入する ▶ ❸出願書類を郵送する

※『関西大学入学試験 ポータルサイト』等のデザイン、文言等は変更になる場合があります。

●出願期間

データ登録期間（日本時間）	入学検定料納入期間（日本時間）	出願書類送付期間（日本時間）
2026年９月１日（火）９：30～ 2026年９月７日（月）23：00	2026年９月１日（火）９：30～ 2026年９月７日（月）24：00	2026年９月１日（火）～ 2026年９月７日（月）消印有効

※出願手続は、データ登録、第１次選考の入学検定料の納入、出願書類の郵送により完了します。
データ登録のみでは出願したものとして取扱いません。

●事前準備

①**データ登録にはデジタル写真（ファイル形式：.jpegまたは.jpgのもの）が必要です。**
データ登録は、31ページの「『関西大学入学試験 ポータルサイト』へのユーザ登録 （５）出願写真のアップロード」を確認し、デジタル写真を用意してから行ってください。

②データ登録に際しては、次のものをご用意ください。
・インターネットに接続された端末（スマートフォン、パソコン、タブレット等）
・プリンタ（自宅にプリンタを準備できない場合は、コンビニエンスストアのマルチコピー機等をご利用ください）
・クレジットカード（入学検定料をクレジットカードで納入する場合）
・『関西大学入学試験 ポータルサイト』のユーザ登録（無料）に使用するメールアドレス

③登録されたメールアドレス宛に、ユーザ登録完了、出願情報の登録（データ登録）完了、入学検定料の入金完了等の通知メールを送信します。メールを受信できるよう、ドメイン（「@sak-sak.net」）の受信指定を行ってください。

ご参考

●『関西大学入学試験 ポータルサイト』へのユーザ登録＜必須＞

※ユーザ登録は、出願期間より前に行うことができます。なるべく早めに登録を行ってください。
※ユーザ登録とあわせて、志願者情報（氏名・生年月日等のプロフィール）を登録しておくと、出願データ登録時に個人情報の入力の手間を省くことができます。

（1）『関西大学入学試験 ポータルサイト』にアクセス

『関西大学入学試験 ポータルサイト』トップページ（https://sak-sak.net/portalapp/kansaiuniv）にスマートフォン、パソコン、タブレット端末からアクセスし、「初めての方はこちら」から登録を行ってください。

（2）個人情報の取扱いに関する同意事項を確認・ユーザ登録

「個人情報の取扱いについて」を確認のうえ、「上記事項に同意する。」チェックボックスを選択してください。
メールアドレスを入力し、「登録」をクリックしてユーザ登録してください。
※登録したメールアドレスはログイン時のユーザIDとして使用されます。

（3）パスワード登録

登録したメールアドレス宛に、ユーザ登録完了メールが届き、仮パスワードが発行されます。
メールに記載されたURLからユーザID・仮パスワードを入力し、「ログイン」をクリックすると、マイページの画面に遷移します。
ログイン後、「パスワード変更」からパスワードを変更してください。

（4）志願者情報（プロフィール）の登録

マイページにある「プロフィール編集」から、志願者情報の各必要項目を入力し、「登録」をクリックしてください。
登録完了後は、「戻る」をクリックし、マイページに戻ってください。

氏名や住所等を入力する際は、JIS第１水準および第２水準の文字で入力してください。
なお、JIS第１水準および第２水準以外の文字は入力できませんので、その場合は、代替の文字（カタカナを含む）を入力してください。
※入学後に交付する学生証等の氏名表記は、出願データ登録時に入力された文字となります。
例）髙→高、吉→吉、﨑→崎、濵→濱、楠→橋、瀬→瀬、栁→柳、德→徳、昇→昇、角→角、桒→桑、
Ⅲ（ローマ数字）⇒III（アルファベットのアイを３つ入力）など

（5）出願写真のアップロード

マイページにある「写真アップロード」をクリックし、画面の案内に従って、出願写真をアップロードしてください。

※提出書類として写真を郵送する必要はありません。

＜出願写真について＞

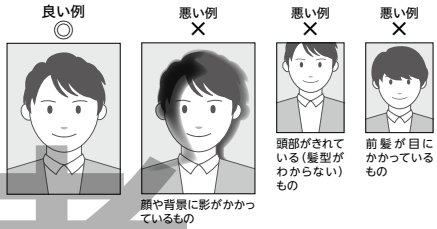
- ファイル形式は.jpegまたは.jpgのものです。
- 出願前３か月以内に撮影したもので、上半身、正面、脱帽、バックは無地に限ります（カラー・白黒どちらでもかまいません）。
- 出願写真を下記のとおりアップロードしてください。

１．「写真選択」をクリックして、アップロードする写真を選択してください。

２．<編集機能>により、サイズや位置を調整して、枠に合わせてください。

次に該当するものは使用できません。注意して写真のアップロードをしてください。出願写真として適切でないと判断した場合は、再提出（アップロード）していただくことがあります。

・頭部（髪）が切れている
・顔が小さい
・前髪が目にかかっている（かかりそう）
・加工･修正しているもの
・照明が反射している
・無背景無地でない（カーテン､窓などが写っている）
・写真自体が暗い
・写真がぼやけている
・プリントアウトした写真を撮影したもの
・後ろ(背景)に顔の影が映っている、顔に影がかかっている



３．「切り抜き」をクリックして、出願写真を作成してください。
※失敗した場合は「やり直し」をクリックしてください。

４．規定どおりかを確認し、「規定の確認」の項目にチェックを入れて、「保存」をクリックしてください。

ご参考

●出願データの登録・入学検定料の納入

（1）パソコン・スマートフォンまたはタブレット端末で『関西大学入学試験 ポータルサイト』にアクセス

データ登録期間内に『関西大学入学試験 ポータルサイト』トップページ（https://sak-sak.net/portalapp/kansaiuniv）にアクセスし、マイページにログインしてください。
「関西大学入学試験情報総合サイトKan-Dai web」（https://www.kansai-u.ac.jp/nyusi/）より『関西大学入学試験 ポータルサイト』にアクセスすることもできます。

（2）出願データの登録

1　マイページ下部の「出願登録・出願内容の確認」にある「出願登録および出願登録した情報はこちら」をクリックしてください。
2　「出願確認事項」および「出願登録から出願書類提出までの流れ」の内容を確認し、画面下部にある「出願開始」をクリックしてください。
3　「志願票種類」の中から出願する試験種別を選択し、「次へ」をクリックしてください。
4　志望する情報（学部・学科・専攻）・試験日程を選択してください。
5　志願先を選択し、「次へ」をクリックしてください。
6　「試験選択」「選択中試験内容」を確認し、内容を変更する場合は「選択中試験内容」の「処理区分」から訂正を行ってください。内容に問題がなければ、「次へ」をクリックしてください。
7　画面の指示に従い、各項目を入力して「次へ」をクリックしてください。
30ページのユーザ登録（４）で登録した志願者情報（氏名・生年月日等のプロフィール）が表示されますので、変更等があれば、画面上で修正してください。
8　本ページのユーザ登録（５）でアップロードした写真が表示されますので、規定どおりかを確認し、「規定の確認」の項目にチェックを入れて、「確認画面へ」をクリックしてください。

9　表示されている「志願者情報入力確認」の内容を確認し、訂正する場合は「戻る」を、問題がなければ、「次へ」をクリックしてください。

10　（「志願者追加情報入力」画面が表示される場合のみ）
画面の指示に従い、各項目を入力して「確認画面へ」をクリックしてください。
表示されている「志願者追加情報入力確認」を確認し、訂正する場合は「戻る」を、問題がなければ、「次へ」をクリックしてください。

※出願時にデータ提出した写真は、入学後に交付する学生証の写真として使用します。

（3）登録内容の最終確認

「お支払い内容」「志願者情報（志願者追加情報）」「試験情報」を確認してください。あわせて、「クレジットカード取引における情報提供について」「お支払いに関する注意事項」を確認し、同意する場合は、「上記、内容確認の上、同意しました」チェックボックスにチェックを入れ「出願」をクリックしてください。

（注）登録内容の最終確認画面で入力内容に誤りがないか、再度確認し、訂正が必要な場合は、該当箇所の「戻る」をクリックし訂正してください。
「出願」をクリックすると、これ以降、登録内容の修正はできません。

（4）出願データ登録の完了

（1）～（3）により、出願データの登録が完了しました。
続けて入学検定料の納入を行ってください。

※出願登録が完了すると、出願情報の登録（データ登録）完了のメールが届きます。
入学検定料の納入方法については（5）を参照してください。

（5）入学検定料の納入

以下のいずれかの方法から、支払い手続き画面へアクセスしてください。

・登録情報確認画面の「お支払いの手続き」から「お支払い方法選択」をクリック
・「出願登録（データ登録）」が完了した後に届く出願情報の登録完了メール内の「支払URL」のリンクをクリック
・「マイページ」→「出願登録・出願内容の確認」→「該当の出願受付番号」→「出願状況詳細」の決済情報にある「お支払い手続きURL」のリンクをクリック

ご参考

「クレジットカード」「コンビニ」「ネットバンキング」「ATM（ペイジー）」いずれかの納入方法を選択してください。選択した納入方法の手順に従い、入学検定料を納入してください。

【クレジットカードの場合】
クレジットカード情報入力画面でクレジットカードによる納入を行ってください。

【コンビニエンスストア、ATM（ペイジー）、ネットバンキングの場合】
選択した納入方法で入学検定料の納入を行ってください。
※各種納入方法については、以下の二次元コードを読み取り、ご確認ください。

セブンイレブン　デイリーヤマザキ　ローソン・ミニストップ　ファミリーマート
セイコーマート　ATM(ペイジー)　ネットバンキング　ネットバンキング対応金融機関一覧

※入学検定料納入後、入学検定料の入金完了メールが届きます。

■入学検定料　第１次選考：15,000円　第２次選考：20,000円

※第２次選考入学検定料の納入については、51ページを確認してください。
※「個別の入学資格審査」の対象者は、出願資格が認められた後に納入してください。
※一旦納入された入学検定料は、返還いたしません。
ただし、次に該当する場合は、入学検定料を返還する場合があります。
該当する方は、出願締切日より７日以内に関西大学 入試センター 入試・高大接続グループまでご連絡ください。
・入学検定料を所定額より多く支払った場合（二重払いを含む）
・入学検定料を支払ったが、所定の期日までに出願書類を提出しなかった場合
・入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、本学が出願を認めなかった場合
※入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

■期日について

出願（データ登録）	出願期間の**最終日はデータの登録を23：00**までに完了してください。
入学検定料の納入	入学検定料納入期間の**最終日は24：00**までに完了してください。

※出願期間については30ページを確認してください。

●出願確認票・宛名シートの印刷

入学検定料の納入後、マイページの「出願登録・出願内容の確認」をクリックし、「出願受付」が「入金済」の状態となっている「出願受付番号」をクリックしてください。

「出願状況詳細画面」の下部にある「出願確認票印刷」をクリックしてください。

「出願確認票（大学提出用・本人控）・宛名シート」のPDFファイルが自動でダウンロードされますので、**Ａ４サイズの白紙に縦向き・原寸大で片面印刷してください。**

（注）「出願確認票（大学提出用・本人控）・宛名シート」は入学検定料納入前には印刷することができません。

なお、自宅にプリンタを準備できない場合は、コンビニエンスストアのマルチコピー機等をご利用ください。

●出願書類の郵送

出願書類のうち、本学指定用紙①～⑲は以下の本学webサイトからダウンロード・印刷してください。
https://www.kansai-u.ac.jp/nyusi/

①出願書類確認表 で書類を確認の後、市販の封筒（角２サイズ）に出願書類一式を入れ、出願データの登録・入学検定料の納入後に印刷した「宛名シート」を貼付のうえで、出願期日までに**簡易書留速達**で郵便局の窓口から送付してください。

〔出願書類〕

志望する学部や出願資格によって提出書類が異なりますので、必ず ①出願書類確認表 にて確認のうえ、41ページ以降の「７　出願書類提出要領」にしたがって順番に整理して封入してください。

〔出願期間〕2026年９月１日(火)～９月７日(月)　消印有効

ご参考

6　出願書類と作成上の注意

学部、出願型・専攻ごとに提出書類が異なります。以下の一覧表で、志望学部、出願型・専攻の提出書類を確認するとともに、37～40ページで各提出書類の詳細を確認してください。

学部	出願型・専攻 ＼ 出願書類	出願確認票［大学提出用］	卒業証明書	その他証明書等	調査書（厳封）	①出願書類確認表	②活動報告書 ②—1	②—2	②—3	②—4	②—5	③入学志望理由書	④指定図書についての小論文（法学部）	⑤将来計画書（法学部）	⑥論文（文学部）	⑦国際バカロレア資格取得見込証明書 兼 最終成績予測スコア証明書（商学部）	⑧専攻別課題レポート（社会学部）	⑨課題小論文（政策創造学部）	⑩推薦書（外国語学部）	⑪将来設計書（外国語学部）	⑫課題レポート（外国語学部）	⑬課題レポート（総合情報学部）	説明資料の写し（社会安全学部）	⑭課題レポート（システム理工学部）	ソースコード（システム理工学部）	⑮課題レポート（環境都市工学部）	⑯課題レポート（化学生命工学部）	⑰資料説明票	出願資格を証明する資料	⑱活動実績に関する推薦書（社会学部）	⑲国際バカロレア資格取得見込証明書 兼 最終成績予測スコア証明書（ビジネスデータサイエンス学部）
法学部	Ⅰ型（国際関係志向型）	○	○			○						○																○	○		
	Ⅱ型（文献読解能力重視型）	※『関西大学入学試験 ポータルサイト』からデータ登録および入学検定料納入完了後にダウンロードし、印刷したもの（33ページの「●出願確認票・宛名シートの印刷」を確認してください）。	※提出が必要な対象者等については、36ページを確認してください。			※全員提出が必要							○																		
	Ⅲ型（法曹志望者特化型）											○		○																	
文学部（初等教育学専修を含む）	自己推薦型						○	○				○																○	○		
	外国語能力重視型						○	○				○																○	○		
	論文評価型						○	○				○			○※1																
経済学部	一般 A〔自己推薦型〕						○	○				○																○	○		
	一般 B〔グローバルリーダー志向型〕						○	○				○																○	○		
	一般 C〔データサイエンティスト志向型〕						○	○				○																○	○		
	社会人						○	○				○																○	○		
商学部	高度な資格（簿記・会計）						○	○				○																○	○		
	高度な資格（英語等）						○	○				○																○	○		
	ビジネス関連実績						○	○				○																○	○		
	国際バカロレア資格（日本語DP）						○	○				○				○※2															
社会学部	社会学専攻						○	○				○					○											○	○※3	○※3	
	心理学専攻						○	○				○																○	○※3	○※3	
	メディア専攻						○	○				○					○											○	○※3	○※3	
	社会システムデザイン専攻						○	○				○					○											○	○※3	○※3	
政策創造学部							○	○				○						○										○	○		
外国語学部	A〔中国語〕						○	○				○							○	○	○										
	B〔クロス留学〕						○	○				○							○	○								○	○		
	C〔英語教員〕						○	○				○							○	○								○	○		
	D〔日本語教育〕						○	○				○							○	○								○	○		
	E〔グローバルキャリア〕						○	○				○							○	○								○	○		

ご参考

※1　文学部 総合人文学科（初等教育学専修以外）は「⑥-１論文」を、文学部 初等教育学専修は「⑥-２論文」を提出してください。
※2　国際バカロレア資格を取得した者は「国際バカロレア資格証明書の写し（コピー）」および「国際バカロレア最終試験６科目の成績評価証明書」を提出してください（その場合「⑦国際バカロレア資格取得見込証明書 兼 最終成績予測スコア証明書」は提出不要）。
※3　活動実績を証明する資料がない場合に限り、「⑱活動実績に関する推薦書」に代えることができます（その場合も「⑰資料説明票」を提出）。

（次ページにつづく）

学部	出願型・専攻	出願確認票［大学提出用］	その他証明書等 卒業証明書 調査書（厳封）	①出願書類確認表	②活動報告書 ②—1	②—2	②—3	②—4	②—5	③入学志望理由書	④指定図書についての小論文（法学部）	⑤将来計画書（法学部）	⑥論文（文学部）	⑦国際バカロレア資格取得見込証明書 兼 最終成績予測スコア証明書（商学部）	⑧専攻別課題レポート（社会学部）	⑨課題小論文（政策創造学部）	⑩推薦書（外国語学部）	⑪将来設計書（外国語学部）	⑫課題レポート（外国語学部）	⑬課題レポート（総合情報学部）	説明資料の写し（社会安全学部）	⑭課題レポート（システム理工学部）	ソースコード（システム理工学部）	⑮課題レポート（環境都市工学部）	⑯課題レポート（化学生命工学部）	⑰資料説明票	出願資格を証明する資料	⑱活動実績に関する推薦書（社会学部）	⑲国際バカロレア資格取得見込証明書 兼 最終成績予測スコア証明書（ビジネスデータサイエンス学部）
人間健康学部	A〔スポーツ活動実績型〕	○	○	○	○	○	○※4			○															○※4	○※4		
	B〔地域貢献活動評価型〕			※全員提出が必要	○	○	○※4			○															○※4	○※4		
	C〔自己推薦型〕	※全員提出が必要 ※『関西大学入学試験 ポータルサイト』からデータ登録および入学検定料納入完了後にダウンロードし、印刷したもの（33ページの「●出願確認票・宛名シートの印刷」を確認してください）。	※提出が必要な対象者等については、36ページを確認してください。	※全員提出が必要	○	○	○※4			○															○※4	○※4		
総合情報学部	活動実績評価型				○	○				○															○	○		
	情報リテラシー評価型									○									○										
社会安全学部	考動力評価型									○										○※5									
ビジネスデータサイエンス学部					○	○		○※6		○															○※6	○		○※7
システム理工学部	活動実績評価型				○	○			○	○															○	○		
	データサイエンス型									○												○	○※8						
環境都市工学部	活動実績評価型				○	○			○	○														○	○				
	SDGs型									○																			
化学生命工学部	探究評価型				○	○			○	○															○	○		
	実績評価型				○	○			○	○															○	○		
	KUMP型									○														○					

ご参考

※4　特色ある活動を証明する資料がない場合に限り、「②－３活動報告書」に代えることができます（その場合「⑰資料説明票」は提出不要）。証明する資料がない活動が複数ある場合でも、「②－３活動報告書」は１部（2,000字以内）にまとめてください。
※5　提出方法については、19ページ『学部で特に定める資料』「説明資料の写しについて」を確認してください。
※6　学部で特に定める基準２－⑵による出願の場合で、特色ある異文化体験を証明する資料がない場合に限り、「②－４活動報告書」に代えることができます（その場合「⑰資料説明票」は提出不要）。
※7　学部で特に定める基準２－⑶による出願の場合で、国際バカロレア資格を取得した者は「国際バカロレア資格証明書の写し（コピー）」および「国際バカロレア最終試験６科目の成績評価証明書」を提出してください（その場合「⑲国際バカロレア資格取得見込証明書 兼 最終成績予測スコア証明書」は提出不要）。
※8　提出方法については、23ページ『学部で特に定める資料』を確認してください。

（次ページにつづく）

1　出願確認票［大学提出用］

●『関西大学入学試験 ポータルサイト』からデータ登録および入学検定料納入完了後にダウンロードし、印刷したもの。
（33ページの「●出願確認票・宛名シートの印刷」を確認してください。）

2　調査書等

●厳封したもの
●文部科学省指定の様式により出身高等学校長もしくは中等教育学校長が出願前３カ月以内に作成したもの
●証明の欄に校長印および記載責任者印があるもの
●卒業見込み者については、第３学年１学期末〔２学期制の場合は前期末〕までの成績が記載されたもの
※２学期制で第３学年前期末までの成績が記載された調査書の提出が不可能な場合は、前期中間までの成績が記載された調査書、それが不可能な場合は、第２学年後期末までの成績と第３学年での履修科目が記載された調査書を提出してください。

◆複数の高等学校等に在籍した場合
①から③のいずれかの方法で前籍校の証明書も必要です。在籍したすべての高等学校等の調査書等を提出してください。
①前籍校の調査書（厳封）または成績証明書を提出
※前籍校での在籍期間が短く、調査書または成績証明書が発行されない場合は、その旨を記載したメモ（高校作成）と在籍期間が記載されている証明書を提出してください。
②編入・転入した高等学校の調査書に前籍校での成績を転記した場合は、調査書内に「○○高校からの転記」と明記して提出してください。
③編入・転入した高校が保管する前籍校の成績証明書のコピーに、学校長の署名、公印で原本と相違ないことの証明を受けて提出してください。
◆高等学校在学中に留学等で外国における学校教育を受けた場合
日本の高等学校の調査書とあわせて外国の学校の成績証明書（原本）および在籍期間が記載されている証明書（原本）（成績証明書に在籍期間が記載されている場合は不要）を提出してください。
※外国の学校の成績証明書および在籍期間が記載されている証明書について、日本語または英語で記載されていない書類は、大使館等の翻訳証明書付きの和訳または英訳とあわせて提出してください。
◆高等学校卒業から長期間経過しており、調査書が発行できない場合
高等学校が作成した「調査書発行不可」の旨を記載した証明書、成績証明書、卒業証明書の３点を提出してください。

ご参考

3　卒業証明書

●日本の高等学校もしくは中等教育学校卒業見込み者については、提出不要
●文部科学省指定の様式により出身高等学校長もしくは中等教育学校長が出願前３カ月以内に作成したもの

4　その他証明書等（該当者のみ）

高等学校卒業程度認定	合格（見込）成績証明書または2026年度高等学校卒業程度認定試験受験票の写し
外国の教育制度に基づく高等学校の出身者、または一定期間在籍した者	・外国の学校の成績証明書および在籍期間が記載されている証明書（成績証明書に在籍期間が記載されている場合は不要）。なお、日本語または英語で記載されていない書類は、大使館等の翻訳証明付きの和訳または英訳も提出してください。 ・大学進学のための統一試験のある教育制度について、当該制度またはその他の規則にしたがって統一試験等を受験した場合は、その統一試験の成績証明書。
文部科学大臣の指定した者	国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、およびバカロレア資格（フランス共和国）取得者等 ・外国の教育制度に基づく高等学校出身者は、当該制度またはその他の規則にしたがって受験した統一試験の成績証明書 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了した者および修了見込み者 ・出身校の成績証明書 ・出身校の卒業または修了（見込）証明書
在外教育施設	文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程、または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程の修了（見込）証明書および成績証明書

※提出する証明書等は、高等学校卒業程度認定試験受験票の写しを除き、すべて原本を提出してください。

（次ページにつづく）

５以降の①～⑲の本学指定用紙は、以下の本学webサイトからダウンロード・印刷してください。
https://www.kansai-u.ac.jp/nyusi/
また、以下の点に注意のうえ作成してください。

1．所定の欄に黒ボールペンまたは黒インクのペンで１文字ずつ、ていねいに記入してください（消せるボールペンは使用不可）。
2．**修正する場合は、二重線で消して、訂正印を押したうえでわかりやすく書き直してください。修正液等は使用しないでください。**
3．出願書類は、志願者自身の考え・思い・経験などを志願者自身の言葉で作成してください。また、図表やソースコード等についても同様に、志願者自身で作成してください。

5　①出願書類確認表（本人自筆）

法 文 経 商 社 政 外 人 総 社安 ビジ シ 環 化

- 本学指定用紙
- 出願前に自身の志望学部、出願型・専攻、提出すべき書類を再確認し、出願書類送付前の最終チェックを行ってください。

6　②活動報告書（本人自筆）

文 経 商 社 政 外 人 総(活動) ビジ シ(活動) 環(活動) 化(探究)(実績)

- 本学指定用紙
- 「②-２活動報告書」は、本人が記入すべき活動実績、能力・資格等の取得がない場合でも志望学部、氏名を記入し必ず提出してください。
- 「②-２活動報告書」内、「⑴　出願資格を証明する資料」には、出願資格のうち、何を証明する資料なのかを具体的に記入してください（文学部【論文評価型】、商学部【国際バカロレア資格（日本語DP）】、外国語学部【A〔中国語〕】は記入不要）。
- 法学部、総合情報学部【情報リテラシー評価型】、社会安全学部、システム理工学部【データサイエンス型】、環境都市工学部【SDGs型】、化学生命工学部【関大メディカルポリマー（KUMP）型】は提出不要です。

7　③入学志望理由書（本人自筆）

法(Ⅰ型)(Ⅲ型) 文 経 商 社 政 外 人 総 社安 ビジ シ 環 化

- 本学指定用紙
- 志望学部が指定するテーマについて、各学部が定める字数にしたがって作成してください（学部ごとの詳細は本学指定用紙「③入学志望理由書」に記載）。
- ２ページ以降は本学指定用紙「原稿用紙」を使用し、１ページにつづくページ番号を必ず記入してください。
- 法学部【Ⅱ型】は提出不要です。

8　各学部で特に定める資料※1

法(Ⅱ型)(Ⅲ型) 文(論文) 商(バカロレア) 社 政 外 総(情報) 社安 シ(データ) 環(SDGs) 化(KUMP)

法学部	④「指定図書についての小論文」【Ⅱ型】のみ ⑤「将来計画書」【Ⅲ型】のみ
文学部 （初等教育学専修を含む）	⑥「論文」【論文評価型】のみ ※２
商学部	〈国際バカロレア資格を取得した者〉 「国際バカロレア資格証明書の写し（コピー）」および「国際バカロレア最終試験６科目の成績評価証明書」 〈国際バカロレア資格を取得見込みの者〉 ⑦「国際バカロレア資格取得見込証明書 兼 最終成績予測スコア証明書」
社会学部	⑧「専攻別課題レポート」（社会学・メディア・社会システムデザイン専攻のみ）
政策創造学部	⑨「課題小論文」
外国語学部	⑩「推薦書」※３ ⑪「将来設計書」 ⑫「課題レポート」【A〔中国語〕】のみ
総合情報学部	⑬「課題レポート」【情報リテラシー評価型】のみ

（次ページにつづく）

社会安全学部	「説明資料の写し」（A３サイズ程度に縮小したもの）※４
システム理工学部	⑭「課題レポート」 「ソースコード」※５ いずれも【データサイエンス型】のみ
環境都市工学部	⑮「課題レポート」【SDGs型】のみ
化学生命工学部	⑯「課題レポート」【関大メディカルポリマー（KUMP）型】のみ

※１　各資料の課題や字数等の詳細については、各様式に記載しています。
※２　文学部 総合人文学科(初等教育学専修以外)は「⑥-１論文」を、文学部 初等教育学専修は「⑥-２論文」を提出してください。
※３　高等学校・中等教育学校における担任もしくは本人をよく知る教員が作成したもの（推薦書の署名・押印のないものは無効）。推薦書提出の際に厳封は不要です。また、「⑩推薦書」に対する「⑰資料説明票」は提出不要です。
※４　提出方法については、19ページ『学部で特に定める資料』「説明資料の写しについて」を確認してください。
※５　提出方法については、23ページ『学部で特に定める資料』を確認してください。

9　出願資格を証明する資料（⑰資料説明票および各種協会等が発行する証明書等）

法(Ⅰ型) 文(自己)(外国語) 経 商(国際)(ビジネス) 社 政 外(B)(C)(D)(E) 人 総(活動) ビジ シ(活動) 環(活動) 化(探究)(実績)

- **資料は原則高校入学以降のもので、「②-２活動報告書」⑴に記載の資料３点以内とし、資料ごとに「⑰資料説明票」を作成してください。**
  （法学部【Ⅰ型】は「②活動報告書」の提出は不要です。）
- 各学部で特に定める基準等（４～29ページ）および38～40ページの一覧表にしたがって、それを証明する資料（活動の実績、能力・資格・技能等の具体的な内容がわかる資料）を、本学指定用紙「⑰資料説明票」を表紙にして提出してください（封筒で郵送できるものであれば可）。**また、「⑰資料説明票」の下部に記載の「資料の提出方法」にしたがって提出してください。**
- 出願資格を証明する資料が証明書や文書である場合、コピーを出願資料として取り扱うことができます。
- 出願資格を証明する資料は、原則、返却しません。返却希望の場合、返信用封筒（切手貼付、宛名記入済）を同封してください。なお、DVD-RやCD-R等の記録媒体は申し出があっても返却できません。
- 法学部【Ⅱ型】・【Ⅲ型】、文学部（初等教育学専修を含む）【論文評価型】、商学部【国際バカロレア資格（日本語DP）】、外国語学部【A〔中国語〕】、総合情報学部【情報リテラシー評価型】、社会安全学部、システム理工学部【データサイエンス型】、環境都市工学部【SDGs型】、化学生命工学部【関大メディカルポリマー（KUMP）型】は提出不要です。
- 各学部（出願型）での出願資格を証明する資料について

法学部	【Ⅰ型】	学部で特に定める基準で示した英語外部試験のスコアまたは合格証明書（試験実施機関が発行した原本またはコピー）。ただし、出願時において過去２年以内に取得したもの。 ※DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。
文学部 （初等教育学専修を含む）	【自己推薦型】	各種協会等が発行する証明書の他、参加した大会のパンフレット、メンバー表、新聞・雑誌の記事、表彰状の写し、DVD-RまたはCD-R（データ追記ができないもの）に記録した資料等。 なお、実用英語技能検定の場合は、試験実施機関が発行した合格証明書および個人成績表（一次試験、二次試験とも）を提出してください。
	【外国語能力重視型】	学部（専修）で特に定める基準で示した外国語検定試験のスコアまたは合格証明書（試験実施機関が発行した原本またはコピー）。ただし、出願時において過去２年以内に取得したもの。 なお、実用英語技能検定の場合は、試験実施機関が発行した合格証明書および個人成績表（一次試験、二次試験とも）を提出してください。

（次ページにつづく）

ご参考

経済学部	【一般】 A〔自己推薦型〕 B〔グローバル リーダー志向型〕 C〔データサイエン ティスト志向型〕	各種協会等が発行する証明書の他、参加した大会のパンフレット、メンバー表、新聞・雑誌の記事、表彰状の写し等。ただし、〔グローバルリーダー志向型〕における各種語学検定のグレードまたはスコアは出願時において過去２年以内に取得したもの。 ※推薦書、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。
	【社会人】	学部で特に定める基準で示した英語外部試験のスコアまたは合格証明書（試験実施機関が発行した原本またはコピー）。ただし、グレードまたはスコアは出願時において過去２年以内に取得したもの。 ※推薦書、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。
商学部		ア　学部で特に定める基準２-（１）（２）による出願の場合で、高度な資格や技能等の分野での出願の場合は、試験実施機関が発行した合格証明書または合格通知書のコピー、日本情報オリンピック・日本数学オリンピックの場合は、大会の表彰状やメンバー表のコピーを提出してください。 イ　学部で特に定める基準２-（３）による出願の場合で、出願資格を証明する資料としてコピーを提出する場合は、コピーをＡ４用紙に貼付してください。全国レベルのビジネス関連のコンペティションに団体で参加した際はリーダーとしての役割を果たしたことを示す学校長発行の証明書を提出してください。 ※推薦書、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。
社会学部		各種協会等が発行する証明書の他、参加した大会のパンフレット、メンバー表、新聞・雑誌の記事、表彰状の写し、DVD-RまたはCD-R（データ追記ができないもの）に記録した資料等。 **※「活動実績を証明する資料」として提出できる資料がない場合に限り「⑱活動実績に関する推薦書」に代えることができます。その場合も「⑰資料説明票」を提出してください。**
政策創造学部		各種協会等が発行する証明書の他、参加したコンテストなどのパンフレット、新聞・雑誌の記事、表彰状の写し等。 ※推薦書、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。
外国語学部	【B〔クロス留学〕】 【C〔英語教員〕】 【D〔日本語教育〕】 【E〔グローバル キャリア〕】	学部で特に定める基準で示した英語外部試験のスコアまたは合格証明書（試験実施機関が発行した原本またはコピー）。ただし、2025年１月以降に受検したもの。 ※実用英語技能検定の場合は、試験実施機関が発行した合格証明書および個人成績表（一次試験、二次試験とも）を提出してください。 ※DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。
人間健康学部	【A〔スポーツ活動 実績型〕】 【B〔地域貢献活動 評価型〕】 【C〔自己推薦型〕】	各種協会等が発行する証明書の他、参加した大会のパンフレット、メンバー表、新聞・雑誌の記事、表彰状の写し等。 ※「特色ある活動を証明する資料」として提出できる資料がない場合に限り「②-３活動報告書」に代えることができます。証明する資料がない活動が複数ある場合でも、「②－３活動報告書」は１部（2,000字以内）にまとめてください。「②－３活動報告書」を提出する場合、「⑰資料説明票」の提出は不要です。 ※推薦書、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。
総合情報学部	【活動実績評価型】	各種協会等が発行する証明書の他、参加した大会のパンフレット、メンバー表、新聞・雑誌の記事、表彰状の写し等。 ※推薦書、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。

（次ページにつづく）

一部省略

ビジネスデータサイエンス学部		ア　学部で特に定める基準２-（１）による出願の場合で、出願資格を証明する資料としてコピーを提出する場合は、コピーをＡ４用紙に貼付してください。全国レベルの各種コンペティションや競技プログラミング大会に団体で参加した場合は、リーダーとしての役割を果たしたことを示す学校長発行の証明書を提出してください。なお、リーダー以外のメンバーであってもチーム内における役割が明確であり、チームに必要不可欠な役割を果たした場合は、そのことを示す学校長発行の証明書を提出してください。 イ　学部で特に定める基準２-（２）による出願の場合は、「特色ある異文化体験を証明する資料」を提出してください。 ※特色ある異文化体験を証明する資料がない場合に限り「②-４活動報告書」に代えることができます。その場合、「⑰資料説明票」の提出は不要です。 ウ　学部で特に定める基準２-（３）による出願の場合は、以下の国際バカロレア資格に関する証明書等を提出してください。 〈国際バカロレア資格を取得した者〉 「国際バカロレア資格証明書の写し（コピー）」および「国際バカロレア最終試験６科目の成績評価証明書」 〈国際バカロレア資格を取得見込みの者〉 「⑲国際バカロレア資格取得見込証明書 兼 最終成績予測スコア証明書」（本学指定用紙） エ　学部で特に定める基準２-（４）による出願の場合で、高度な資格や技能等の分野での出願の場合は、試験実施機関が発行した合格証明書または合格通知書のコピー、日本情報オリンピック・日本数学オリンピックの場合は、大会の表彰状やメンバー表のコピーを提出してください。 オ　学部で特に定める基準２-（５）による出願の場合は、各種協会等が発行する証明書の他、参加した大会のパンフレット、メンバー表、新聞・雑誌の記事、表彰状の写し等を提出してください。 ※推薦書、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。
システム理工学部	【活動実績評価型】	各種協会等が発行する証明書の他、参加した大会のパンフレット、メンバー表、新聞・雑誌の記事、表彰状の写し、DVD-RまたはCD-R（データ追記ができないもの）に記録した資料等。
環境都市工学部	【活動実績評価型】	各種協会等が発行する証明書の他、参加した大会のパンフレット、メンバー表、新聞・雑誌の記事、表彰状の写し、DVD-RまたはCD-R（データ追記ができないもの）に記録した資料等。
化学生命工学部	【探究評価型】	・探究学習でまとめた論文やレポート ・学会や研究会、探究学習の報告会等で発表した際のポスターやプレゼンテーション資料 ※学会や研究会、探究学習の報告会のプログラムおよび要旨がある場合はあわせて提出してください。また、表彰を受けた場合は、探究活動の成果物に加えて表彰状等の写しを提出することができます。 ・学協会誌や紀要等に発表した論文 ※推薦書、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。
	【実績評価型】	各種協会等が発行する証明書の他、参加した大会のパンフレット、メンバー表、新聞・雑誌の記事、表彰状の写し、DVD-RまたはCD-R（データ追記ができないもの）に記録した資料等。

ご参考

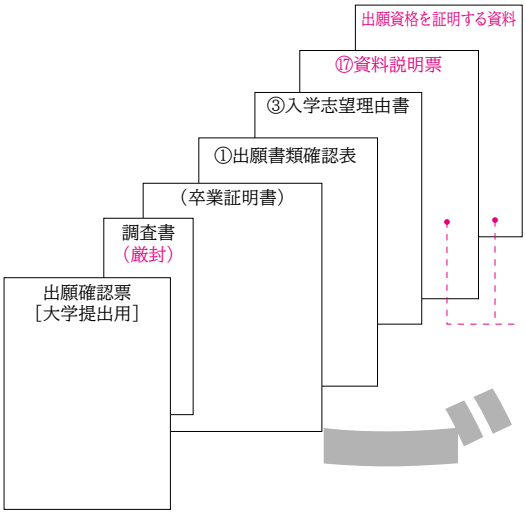
7　出願書類提出要領

出願書類は、各学部の例にしたがって順番に整理して封入してください。

法学部の例

【Ⅰ型】（国際関係志向型）

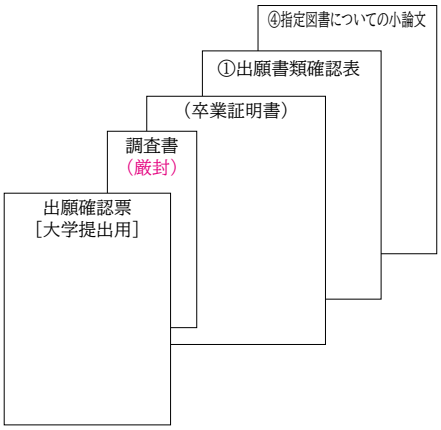
※法学部【Ⅰ型】では出願資格を証明する資料として、学部で特に定める基準として示した英語外部試験のスコアまたは合格証明書（試験実施機関が発行した原本またはコピー）を指定しています。
なお、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。



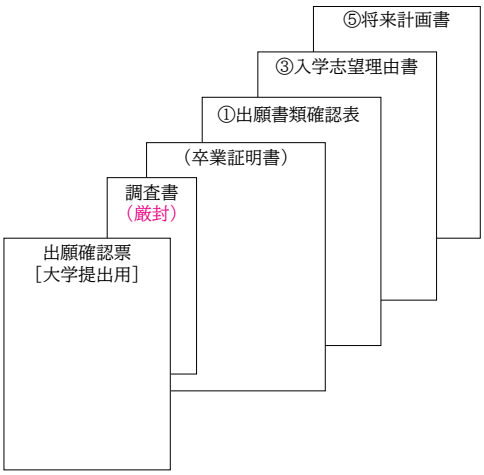
※所定の英語外部試験のグレードまたはスコアを提出してください。
（資料の提出は３点以内です。）

ご参考

【Ⅱ型】（文献読解能力重視型）



【Ⅲ型】（法曹志望者特化型）

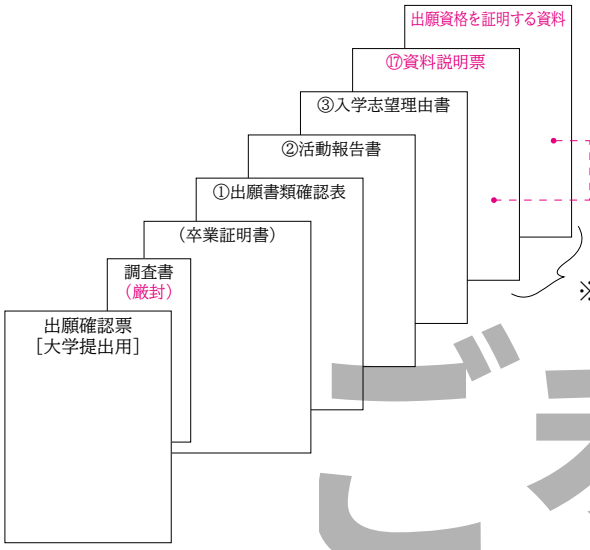


●クリップ類およびホッチキスは一切使用しないでください。
●出願資格を証明する資料の詳細は、38～40ページ「９　出願資格を証明する資料」を参照してください。

文学部の例（初等教育学専修を含む）

【自己推薦型】・【外国語能力重視型】

※文学部【自己推薦型】では出願資格を証明する資料として、大会のパンフレット、メンバー表、新聞・雑誌の記事、表彰状の写し、DVD-RまたはCD-R（データ追記ができないもの）に記録した資料も含みます。
※文学部【外国語能力重視型】では出願資格を証明する資料として、学部で特に定める基準として示した外国語検定試験のスコアまたは合格証明書（試験実施機関が発行した原本またはコピー）を指定しています。

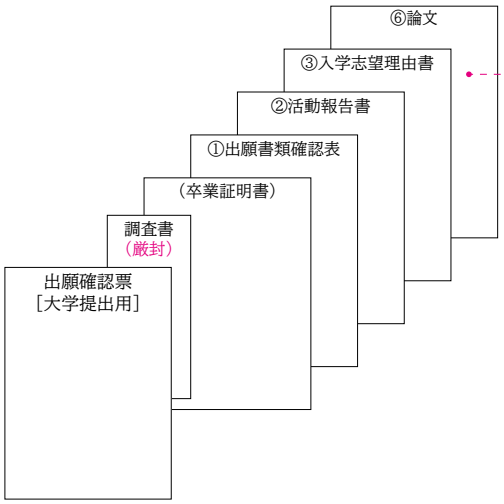


※実用英語技能検定の場合は試験実施機関が発行した合格証明書および個人成績表（一次試験、二次試験とも）を提出してください。

※「出願資格を証明する資料」の提出は、３点以内です。

ご参考

【論文評価型】



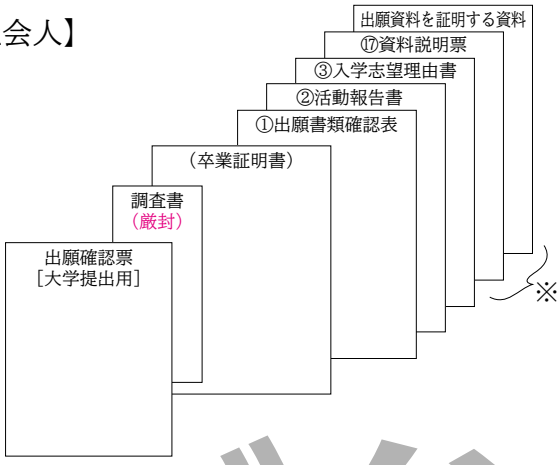
※文学部 総合人文学科（初等教育学専修以外）は⑥-１論文を、
文学部 初等教育学専修は⑥-2論文を提出してください。

●クリップ類およびホッチキスは一切使用しないでください。
●出願資格を証明する資料の詳細は、38～40ページ「９　出願資格を証明する資料」を参照してください。

経済学部の例

※経済学部【一般】では、出願資格を証明する資料として、大会のパンフレット、メンバー表、新聞・雑誌の記事、表彰状の写し等を含みます。
※経済学部【社会人】では出願資格を証明する資料として、学部で特に定める基準として示した英語外部試験のスコアまたは合格証明書（試験実施機関が発行した原本またはコピー）を指定しています。
なお、推薦書、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。

【一般】・【社会人】



※「出願資格を証明する資料」の提出は、３点以内です。

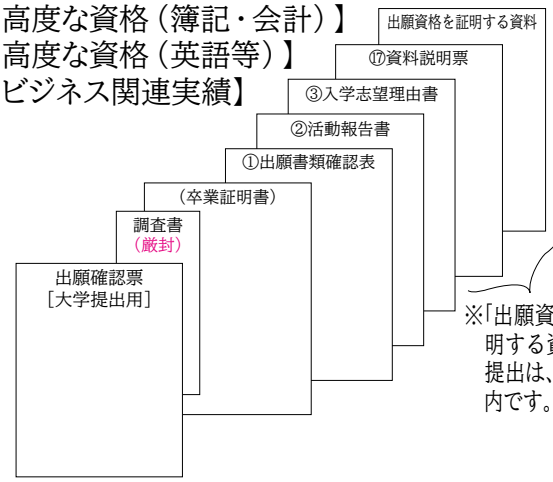
●クリップ類およびホッチキスは一切使用しないでください。
●出願資格を証明する資料の詳細は、38～40ページ「９　出願資格を証明する資料」を参照してください。

ご参考

商学部の例

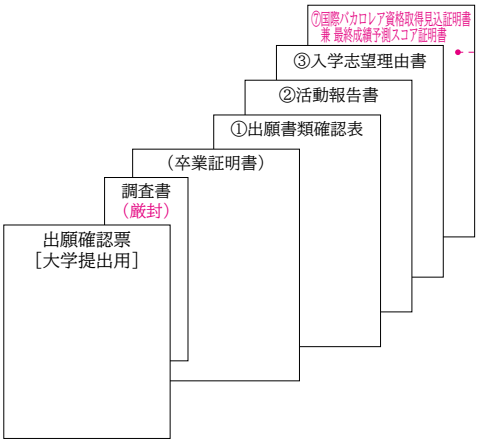
※商学部【高度な資格（簿記・会計）】・【高度な資格（英語等）】では出願資格を証明する資料として、高度な資格や技能等の分野での出願については、試験実施機関が発行した合格証明書ならびに合格通知書の原本またはコピー、日本情報オリンピック・日本数学オリンピックの場合は、大会の表彰状やメンバー表のコピーを指定しています。
なお、推薦書、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。

【高度な資格（簿記・会計）】
【高度な資格（英語等）】
【ビジネス関連実績】



※「出願資格を証明する資料」の提出は、３点以内です。

【国際バカロレア資格（日本語DP）】



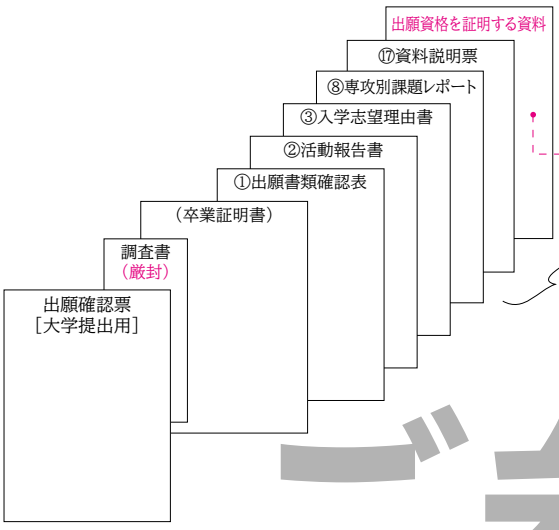
※国際バカロレア資格を取得した者は「国際バカロレア資格証明書の写し（コピー）」及び「国際バカロレア最終試験６科目の成績評価証明書」を提出してください。

●クリップ類およびホッチキスは一切使用しないでください。
●出願資格を証明する資料の詳細は、38～40ページ「９　出願資格を証明する資料」を参照してください。

社会学部の例

※社会学部では出願資格を証明する資料として、大会のパンフレット、メンバー表、新聞・雑誌の記事、表彰状の写し、DVD-RまたはCD-R（データ追記ができないもの）に記録した資料も含みます。

【社会学専攻】・【メディア専攻】・【社会システムデザイン専攻】

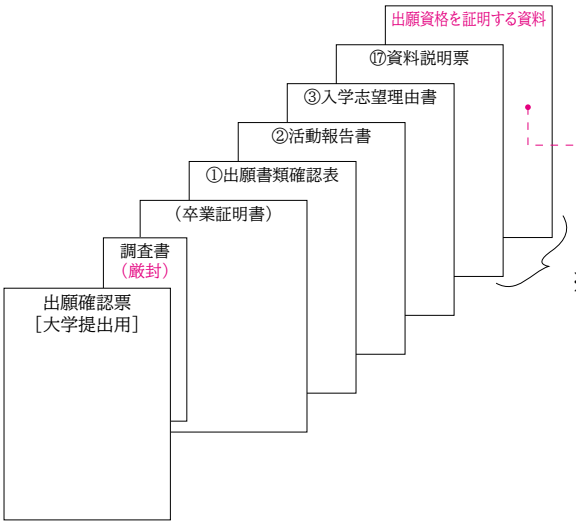


※社会学部では「活動実績を証明する資料」として提出できる資料がない場合に限り「⑱活動実績に関する推薦書」に代えることができます。その場合も「⑰資料説明票」を提出してください。

※「出願資格を証明する資料」の提出は、３点以内です。

ご参考

【心理学専攻】



※社会学部では「活動実績を証明する資料」として提出できる資料がない場合に限り「⑱活動実績に関する推薦書」に代えることができます。その場合も「⑰資料説明票」を提出してください。

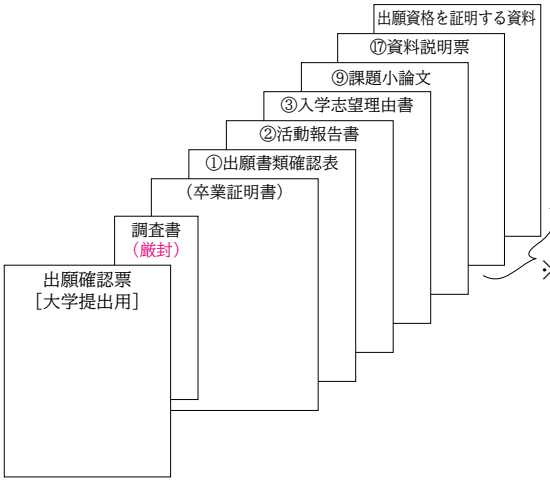
※「出願資格を証明する資料」の提出は、３点以内です。

●クリップ類およびホッチキスは一切使用しないでください。

●出願資格を証明する資料の詳細は、38～40ページ「９　出願資格を証明する資料」を参照してください。

政策創造学部の例

※出願資格を証明する資料として、コンテストなどのパンフレット、新聞・雑誌の記事、表彰状の写し等を含みます。
なお、推薦書、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。



※「出願資格を証明する資料」の提出は、３点以内です。

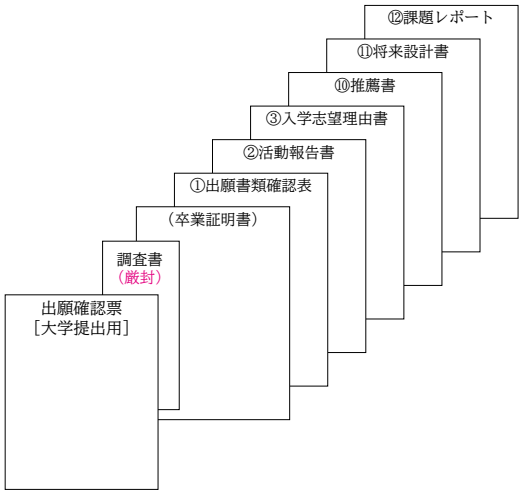
●クリップ類およびホッチキスは一切使用しないでください。
●出願資格を証明する資料の詳細は、38～40ページ「９　出願資格を証明する資料」を参照してください。

ご参考

外国語学部の例

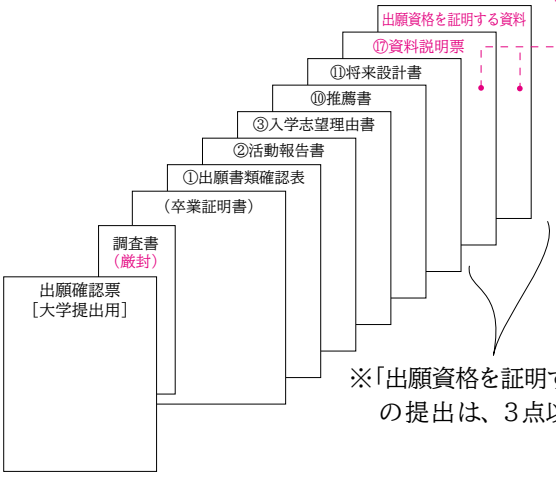
【A〔中国語〕】

※外国語学部【A〔中国語〕】は、学部で特に定める資料として「⑫課題レポート」を提出してください。



【B〔クロス留学〕】・【C〔英語教員〕】・【D〔日本語教育〕】・【E〔グローバルキャリア〕】

※外国語学部【B〔クロス留学〕・C〔英語教員〕・D〔日本語教育〕・E〔グローバルキャリア〕】では、出願資格を証明する資料として、学部で特に定める基準として示した英語外部試験のスコアまたは合格証明書（試験実施機関が発行した原本またはコピー）を指定しています。
なお、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。



※実用英語技能検定の場合は試験実施機関が発行した合格証明書および個人成績表（一次試験、二次試験とも）を提出してください。

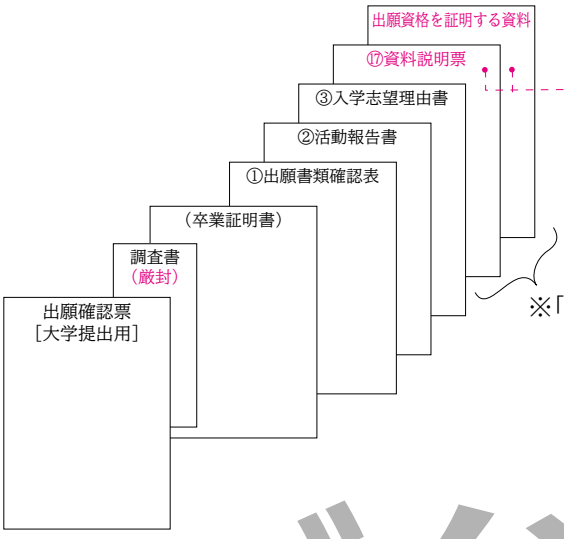
※「出願資格を証明する資料」の提出は、３点以内です。

●クリップ類およびホッチキスは一切使用しないでください。
●出願資格を証明する資料の詳細は、38～40ページ「９　出願資格を証明する資料」を参照してください。

人間健康学部の例

※出願資格を証明する資料として、大会のパンフレット、メンバー表、新聞・雑誌の記事、表彰状の写し等を含みます。
なお、推薦書、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。

【A〔スポーツ活動実績型〕】・【B〔 地域貢献活動評価型〕】・【C〔自己推薦型〕】



※人間健康学部では「特色ある活動を証明する資料」として提出できる資料がない場合に限り、「②－３活動報告書」に代えることができます。証明する資料がない活動が複数ある場合でも、「②－３活動報告書」は１部（2,000字以内）にまとめてください。「②－３活動報告書」を提出する場合、「⑰資料説明票」の提出は不要です。

※「出願資格を証明する資料」の提出は、３点以内です。

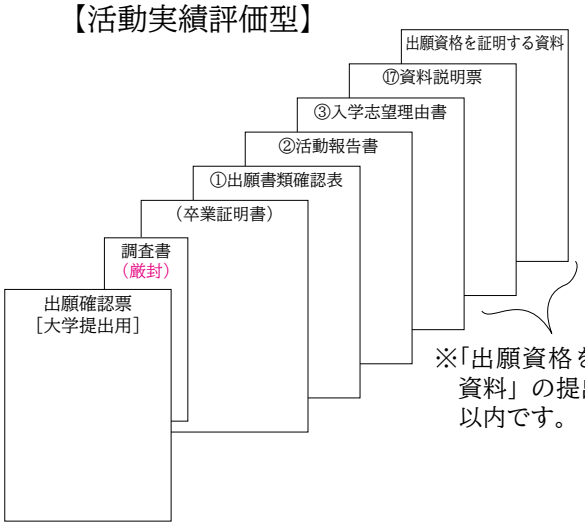
●クリップ類およびホッチキスは一切使用しないでください。
●出願資格を証明する資料の詳細は、38～40ページ「９　出願資格を証明する資料」を参照してください。

ご参考

総合情報学部の例

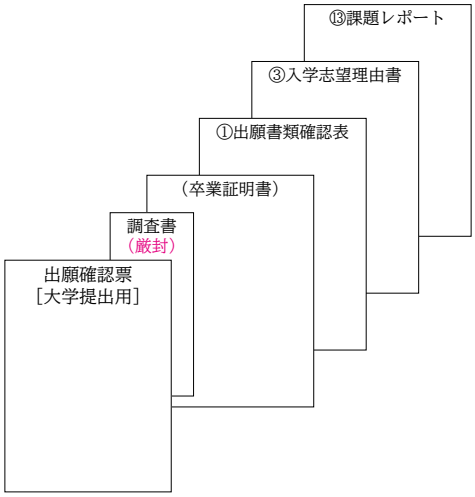
※総合情報学部では出願資格を証明する資料として、大会のパンフレット、メンバー表、新聞・雑誌の記事、表彰状の写し等を含みます。
なお、推薦書、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。

【活動実績評価型】



※「出願資格を証明する資料」の提出は、３点以内です。

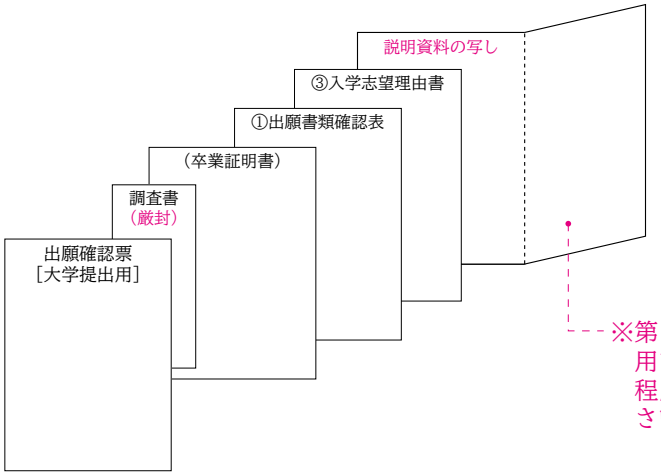
【情報リテラシー評価型】



●クリップ類およびホッチキスは一切使用しないでください。
●出願資格を証明する資料の詳細は、38～40ページ「９　出願資格を証明する資料」を参照してください。

社会安全学部の例

【考動力評価型】



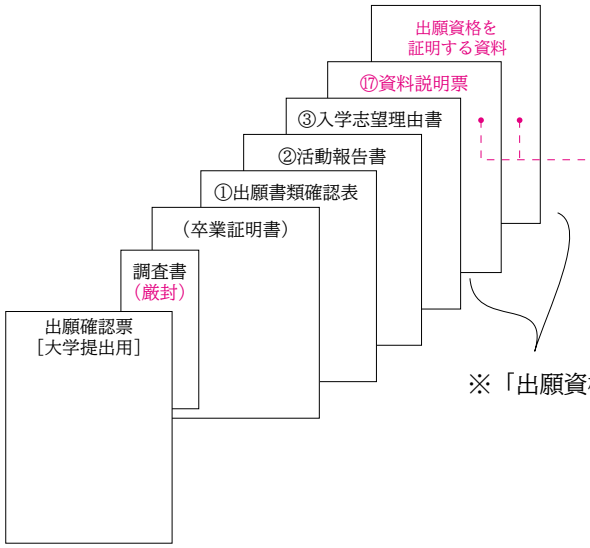
※第２次選考のプレゼンテーションで用いる説明資料について、A3サイズ程度に縮小したものを提出してください。

●クリップ類およびホッチキスは一切使用しないでください。

ご参考

ビジネスデータサイエンス学部の例

※出願資格を証明する資料として、大会のパンフレット、メンバー表、新聞・雑誌の記事、表彰状の写し等を含みます。
なお、推薦書、DVD-RやCD-Rなどの電子媒体に記録した資料は出願資格を証明する資料としては取り扱いません。



※学部で特に定める基準２-（２）による出願の場合で、特色ある異文化体験を証明する資料がない場合に限り、「②－４活動報告書」に代えることができます。その場合、「⑰資料説明票」の提出は不要です。

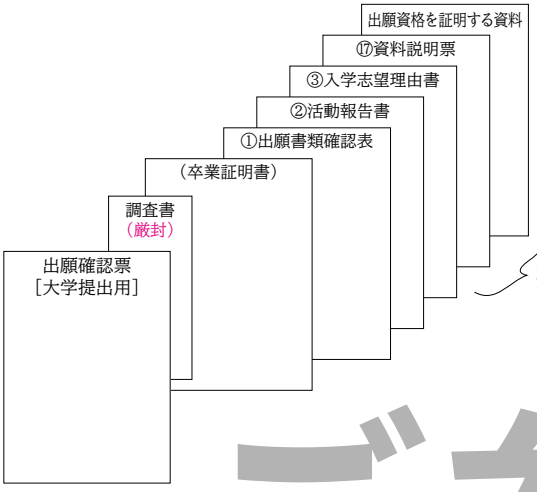
※「出願資格を証明する資料」の提出は、３点以内です。

●クリップ類およびホッチキスは一切使用しないでください。

●出願資格を証明する資料の詳細は、38～40ページ「９　出願資格を証明する資料」を参照してください。

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部の例

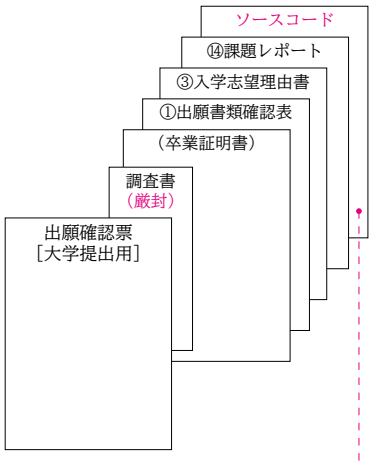
システム理工学部【活動実績評価型】
環境都市工学部【活動実績評価型】
化学生命工学部
【探究評価型】・【実績評価型】



※「出願資格を証明する資料」の提出は、3点以内です。

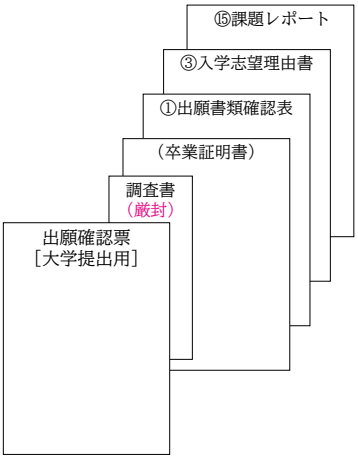
ご参考

システム理工学部
【データサイエンス型】

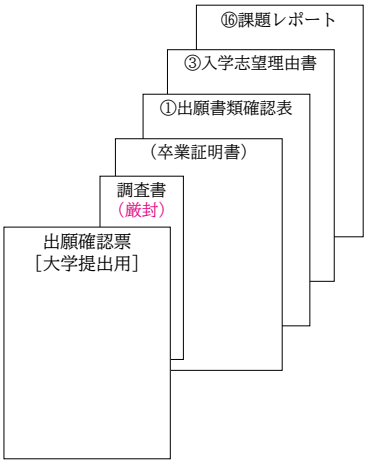


CD-Rまたは紙で
印刷したもので
提出してください。

環境都市工学部【SDGs型】



化学生命工学部
【関大メディカルポリマー（KUMP）型】



●クリップ類およびホッチキスは一切使用しないでください。
●出願資格を証明する資料の詳細は、38～40ページ「9　出願資格を証明する資料」を参照してください。

8　出願時・受験時における注意事項

1　**出願書類に不備がある場合には、出願を受け付けません。**
2　記載事項が事実と異なる場合や、その他不正がある場合は受験および入学の資格を取り消します。
3　出願書類は、志願者自身の考え・思い・経験などを志願者自身の言葉で作成してください。また、図表やソースコード等についても同様に、志願者自身で作成してください。
4　受理した書類は返却しません。
5　出願後の変更は一切認めません。
6　試験当日は、受験票を必ず携行してください。忘れた場合は受験できないことがあります。
7　試験場を間違った場合、受験することができませんので、十分注意してください。
8　試験当日は、試験開始30分前までに指定された試験場に入場してください。
9　筆記試験開始から30分以内の遅刻については受験を認めますが、そのための時間延長はしません。
また、原則として、面接およびセミナーの場合は、集合時刻から30分以内の遅刻については受験を認めます。
いずれの場合も30分経過後の遅刻者には受験を許可しません。
なお、人身事故等による公共交通機関の遅れ（ただし、バス・タクシーを除く）等本人の責めに帰さない事由による遅刻の可能性がある場合には、試験開始時刻を繰り下げる等の措置を講じることがありますので、集合時刻までに必ず試験本部（受験票に記載）へ連絡し指示を受けてください。
10　黒鉛筆【HB】（シャープペンシルは【HB】0.5㎜以上の芯であれば使用可）、消しゴムと時計を持参してください。
11　机の上には、下記以外のものを置くことはできません。
●受験票
●筆記用具、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のものおよびナイフ類は使用不可）
●時計（計時機能だけのものに限ります。秒針音のするものや大型のものは使用不可）
●ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけを取り出したもの）
※目薬、下敷、座布団、ひざ掛け、ハンカチの使用を希望する場合は、あらかじめ試験監督者の許可を得てください。
12　シャープペンシルの芯ケース、定規、分度器、コンパス、計算機(電卓等)、計算・辞書機能等の付いた時計(それらの機能の有無が判別しづらいものも含む)、ウェアラブル端末(腕時計型、眼鏡型等)、ストップウォッチ、キッチンタイマー、携帯電話・スマートフォンの使用および文房具の貸借は一切許可しません。また、アラーム付きの時計は、アラーム機能を解除しておいてください。
13　携帯電話・スマートフォン、携帯型音楽プレイヤー等は必ず電源を切り、かばんに入れてください。また、携帯電話等を時計として使用することは許可しません。
14　耳栓は、監督者の指示等が聞き取れない場合がありますので、使用を許可しません。
15　英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでいただくことがあります。
16　試験場においては、すべて試験監督者の指示に従ってください。
17　次の①～⑧のいずれかに該当する場合、不正行為となる場合があります。
不正行為者には、ただちに試験の中止を命じ、全科目を無効とします。また、以後に実施される本年度の入学試験の受験を認めません。
また、先に実施した本学の入学試験において、既に合格している受験生でも、以後の入学試験で不正行為があった場合には、先の合格を遡及して取り消します。
①不正な手段をもって自己を利するような行為をすること。
②試験時間中に、他の受験生を利するような行為をすること。
③試験時間中に、使用を許可されているもの以外のものを机の上に置くこと。
④試験時間中に、携帯電話等の通信機器を身に付けること。
⑤試験場において、他の受験生の迷惑となる行為をすること。
⑥試験場において、試験監督者の指示に従わないこと。
⑦志願者以外の者が志願者本人になりすまして試験を受けること。
⑧その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

ご参考

9　入学試験実施に際しての対応について

関西大学では、入学試験の実施に際し、可能な限り公平で良好な受験環境の保全に努めます。しかしながら、やむを得ず次のような対応をとる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1　大雪、地震、津波、台風、洪水等の自然災害、火災、停電、感染症（はしか、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等）の感染拡大、その他本学の責によらない不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰下げ（試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻も変更になり得ること、また試験時間を確保するために休憩時間を内規に基づいて調整することがあります。）、試験や合格者発表の延期等の措置をとることがあります。この場合、「関西大学入学試験情報総合サイト Kan-Dai web」（https://www.kansai-u.ac.jp/nyusi/）または『関西大学入学試験 ポータルサイト』において周知しますので、適宜確認してください。ただし、試験開始時刻の繰下げ、試験や合格者発表の延期等の措置によって生じた受験生の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。

2　生活騒音（日常生活において通常起こりうる騒音等）に対して、特別な対応はしません。
《生活騒音の例》
- ●風音、雨音、雷鳴
- ●航空機、自動車、バイク、鉄道の騒音
- ●通過する緊急自動車のサイレン音
- ●工事の音
- ●廃品回収や物売りの類、およびイベント等のアナウンス
- ●動物の鳴き声
- ●空調や照明等、試験会場となる施設・設備が通常発する音
- ●他の受験者の発する音（咳、くしゃみ、ためいき、鼻をすする音、筆記具を使用する際の音等）

3　試験中に万一、携帯電話や時計等の音や振動等が発生し、発生源のかばん等が特定できた場合は、持ち主の同意なしに試験監督者が試験場外に持ち出し、入試実施本部で保管することがあります。

4　試験教室の設備（机、椅子、空調、照明、音響設備等）の違いなどの考慮は一切行いません。

5　試験時間中に、試験監督者が試験実施上必要な指示・説明・巡回を行うことに伴って生じる音等に対する申し出には応じられません。

6　他の受験生に迷惑と判断される行為がある場合は、不正行為とみなすことや別室受験を指示するなどの措置を講じることがあります。

参考

下記の事項については、すべて「関西大学入学試験情報総合サイト Kan-Dai web」（https://www.kansai-u.ac.jp/nyusi/）または『関西大学入学試験 ポータルサイト』にてお知らせします。
- ●入学試験の実施に関して緊急に連絡が生じた際のお知らせ
- ●入学試験要項に訂正があった場合のお知らせ
- ●その他、入学試験全般に関するお知らせ　等

感染症（インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等）について
試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し、治癒していない場合、他の受験者や試験監督者等に感染する恐れがありますので、入学試験の受験をご遠慮願います。
上記により入学試験を欠席する場合は、当該入学試験（欠席日分）にかかる入学検定料を返還しますので、次の要領で手続きを行ってください。

(1) 入学検定料返還の対象者
学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し、治癒していないために入学試験を欠席した志願者。

(2) 入学検定料返還の申請方法
①次のいずれかの日時に電話をしてください。
・試験前日まで：９時～17時　06-6368-0105
・欠席する試験当日：８時～集合時刻まで　06-6368-0105
＊上記日時に連絡することなく欠席した場合は、通常の欠席として取り扱います（入学検定料の返還はしません）。
②以下の申請書類を提出してください。
・入学検定料返還申請書（電話による申請受付後に本学より送付します）
・診断書（以下の内容が記載されているもの）
◆病名：学校保健安全法で出席停止が定められている感染症名
◆加療期間：欠席した試験日が含まれているもの

10　受験番号の照会について

『関西大学入学試験 ポータルサイト』にログインのうえ、**以下①～③の手順で受験番号を確認してください。**
受験番号の照会開始日：2026年10月５日（月）10時

『関西大学入学試験 ポータルサイト』での受験番号の照会手順
① 登録済みのユーザID・パスワードでログインしてください。
② マイページの「出願登録・出願内容の確認」を選択してください。
③ 「出願受付番号」をクリックし、「出願状況詳細」の「受験番号」を確認してください。

11　合格者発表

	合格者発表日
第１次選考（書類選考）	2026年10月８日（木）
第２次選考（面 接 等）	2026年11月２日（月）

合格者発表は、第１次選考、第２次選考ともに『関西大学入学試験 ポータルサイト』上で行います。
合格通知書・不合格通知書の郵送は行いません。
※電話やメール等による合否のお問い合わせには応じられません。

⑴第１次選考合格者は、『関西大学入学試験 ポータルサイト』から「第２次選考のご案内」等を確認し、所定の期日までに第２次選考のデータ登録および入学検定料（20,000円）の納入を完了してください。また、入学検定料納入後に、第２次選考受験票をダウンロード・印刷し、第２次選考（面接等）当日にご持参ください。

※第２次選考出願期間：2026年10月９日（金）～10月13日（火）

⑵第２次選考合格者は、『関西大学入学試験 ポータルサイト』から「合格通知書」、「入学時納付金納入用紙」、「入学手続案内書（Ⅰ）」等をダウンロードしてください。また、入学手続案内書に基づき、所定の期日までに入学手続を行ってください。
※入学手続の詳細は、52ページで確認してください。

●『関西大学入学試験 ポータルサイト』での入試結果照会について

スマートフォン・パソコン・タブレット端末から『関西大学入学試験 ポータルサイト』にログインのうえ、下記に記載の照会期間および52ページの合否照会の流れを参照のうえ、正確にアクセスしてください。
合格者発表開始直後はアクセスが集中し、つながりにくくなる場合があります。その場合はしばらく時間を置いてからアクセスしてください。
なお、アクセス状況や合否の問い合わせには、一切応じません。

⑴照会期間
〇第１次選考：2026年10月８日（木）13時～2027年３月31日（水）24時
※受験番号の照会開始日：2026年10月５日（月）10時
※受験番号照会の詳細は、本ページ「10　受験番号の照会について」を確認してください。
〇第２次選考：2026年11月２日（月）13時～2027年３月31日（水）24時
（注）照会期間以外に確認することはできません。

ご参考

⑵合否照会の流れ

① 登録済みのユーザID・パスワードでログインしてください。
② マイページの「合否結果」を選択してください。
③ 該当の入試種別・受験番号の「合否照会」を選択してください。
④ 入試結果が表示されます。

- 端末の種類やインターネットへの接続方法等で、表示に時間がかかる場合があります。
- ブラウザの設定によっては、画像のずれ・文字化け等が発生する場合があります。
  その場合はブラウザを調整してください。

12 入学手続

第２次選考合格者は、『関西大学入学試験 ポータルサイト』から「合格通知書」「入学時納付金納入用紙」「入学手続案内書（Ⅰ）」等をダウンロードしてください。また、入学手続案内書に基づき、次の入学手続を行ってください。

所定の期日までに入学手続（１および２）を完了しない場合は、入学を許可しません。

手　続　内　容		手　続　期　間（日本時間）
入学手続１ 入学金（入学登録金）、 授業料・諸費の納入	①入学金（入学登録金）の納入	2026年11月４日(水)～11月11日(水)13時
	②授業料・諸費の納入	2027年１月８日(金)～３月12日(金)13時
入学手続２ Web登録および書類の提出	入学金（入学登録金）の納入後に案内される『入学手続案内書（Ⅱ）』に基づき、手続きを行ってください。	2027年２月19日(金)～３月12日(金)

なお、一旦納入された入学金（入学登録金）は、返還いたしません。

入学辞退に伴う授業料等の返還について
やむを得ない理由で入学を辞退する場合は、2027年３月31日（水）までに入学辞退を願い出た者に限り、すでに納めた授業料・諸費の返還を請求することができます(具体的な手続方法については､『入学手続案内書(Ⅱ)』に記載します)。

ご参考

13　学費・諸費

2027年度入学生の学費・諸費は現在未定ですので、参考までに2026年度入学生の学費・諸費を掲載しています。

[法・文（総合人文学科 初等教育学専修・心理学専修以外）・経済・商・社会学部]　（単位：円）

種別＼年次(年度)／区分			1年次（2026年度）			2年次（2027年度）	3年次（2028年度）	4年次(2029年度以降)
			入学初学期	秋学期	年　間	年　間	年　間	年　間
学費	入　学　金		260,000	—	260,000	—	—	—
	授　業　料		495,000	495,000	990,000	1,120,000	1,120,000	1,120,000
諸費	教育後援会	入会金	10,000	—	10,000	—	—	—
		会　費	7,000	—	7,000	7,000	7,000	7,000
	校友会	基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	—
合　計			782,000	495,000	1,277,000	1,147,000	1,127,000	1,127,000

[文学部　総合人文学科 初等教育学専修]　（単位：円）

種別＼年次(年度)／区分			1年次（2026年度）			2年次（2027年度）	3年次（2028年度）	4年次(2029年度以降)
			入学初学期	秋学期	年　間	年　間	年　間	年　間
学費	入　学　金		260,000	—	260,000	—	—	—
	授　業　料		495,000	495,000	990,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
諸費	教育後援会	入会金	10,000	—	10,000	—	—	—
		会　費	7,000	—	7,000	7,000	7,000	7,000
	校友会	基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	—
合　計			782,000	495,000	1,277,000	1,227,000	1,207,000	1,207,000

[文学部　総合人文学科 心理学専修]　（単位：円）

種別＼年次(年度)／区分			1年次（2026年度）			2年次（2027年度）	3年次（2028年度）	4年次(2029年度以降)
			入学初学期	秋学期	年　間	年　間	年　間	年　間
学費	入　学　金		260,000	—	260,000	—	—	—
	授　業　料		495,000	495,000	990,000	1,120,000	1,130,000	1,130,000
諸費	教育後援会	入会金	10,000	—	10,000	—	—	—
		会　費	7,000	—	7,000	7,000	7,000	7,000
	校友会	基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	—
合　計			782,000	495,000	1,277,000	1,147,000	1,137,000	1,137,000

[政策創造学部]　（単位：円）

種別＼年次(年度)／区分			1年次（2026年度）			2年次（2027年度）	3年次（2028年度）	4年次(2029年度以降)
			入学初学期	秋学期	年　間	年　間	年　間	年　間
学費	入　学　金		260,000	—	260,000	—	—	—
	授　業　料		505,000	505,000	1,010,000	1,140,000	1,140,000	1,140,000
諸費	教育後援会	入会金	10,000	—	10,000	—	—	—
		会　費	7,000	—	7,000	7,000	7,000	7,000
	校友会	基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	—
合　計			792,000	505,000	1,297,000	1,167,000	1,147,000	1,147,000

[外国語学部]　（単位：円）

種別＼年次(年度)／区分			1年次（2026年度）			2年次（2027年度）	3年次（2028年度）	4年次(2029年度以降)
			入学初学期	秋学期	年　間	年　間	年　間	年　間
学費	入　学　金		260,000	—	260,000	—	—	—
	授　業　料		658,000	658,000	1,316,000	※1,447,000	1,447,000	1,447,000
諸費	教育後援会	入会金	10,000	—	10,000	—	—	—
		会　費	7,000	—	7,000	7,000	7,000	7,000
	校友会	基本会費	10,000	—	10,000	—	20,000	—
合　計			945,000	658,000	1,603,000	1,454,000	1,474,000	1,454,000

※スタディ・アブロード・プログラムによる留学期間中（原則として２年次）の本学の授業料は、留学先の学費等に充当します。
なお、留学先の学費等が本学の授業料より多い場合には、差額を別途徴収します。
諸費の金額・納入時期は予定であり、変更されることがあります。

（次ページにつづく）

参考

[人間健康学部]　　(単位：円)

種別＼年次(年度)＼区分			1年次（2026年度）			2年次（2027年度）	3年次（2028年度）	4年次(2029年度以降)
			入学初学期	秋学期	年　間	年　間	年　間	年　間
学費	入　学　金		260,000	—	260,000	—	—	—
	授　業　料		515,000	515,000	1,030,000	1,160,000	1,160,000	1,160,000
諸費	教育後援会	入会金	10,000	—	10,000	—	—	—
		会　費	7,000	—	7,000	7,000	7,000	7,000
	校友会	基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	—
合　計			802,000	515,000	1,317,000	1,187,000	1,167,000	1,167,000

[総合情報・社会安全・ビジネスデータサイエンス学部]　　(単位：円)

種別＼年次(年度)＼区分			1年次（2026年度）			2年次（2027年度）	3年次（2028年度）	4年次(2029年度以降)
			入学初学期	秋学期	年　間	年　間	年　間	年　間
学費	入　学　金		260,000	—	260,000	—	—	—
	授　業　料		681,000	681,000	1,362,000	1,492,000	1,492,000	1,492,000
諸費	教育後援会	入会金	10,000	—	10,000	—	—	—
		会　費	7,000	—	7,000	7,000	7,000	7,000
	校友会	基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	—
合　計			968,000	681,000	1,649,000	1,519,000	1,499,000	1,499,000

[システム理工・環境都市工・化学生命工学部]　　(単位：円)

種別＼年次(年度)＼区分			1年次（2026年度）			2年次（2027年度）	3年次（2028年度）	4年次(2029年度以降)
			入学初学期	秋学期	年　間	年　間	年　間	年　間
学費	入　学　金		260,000	—	260,000	—	—	—
	授　業　料		776,500	776,500	1,553,000	1,684,000	1,684,000	※1,684,000
諸費	教育後援会	入会金	10,000	—	10,000	—	—	—
		会　費	7,000	—	7,000	7,000	7,000	7,000
	校友会	基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	—
合　計			1,063,500	776,500	1,840,000	1,711,000	1,691,000	1,691,000

※システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部において、修業年限（８学期）を超えて在学するときは、１学期あたりの学費は792,000円（年間1,584,000円）とします。これに加えて、別途、諸費が必要となります。

(注)　諸費は委託により徴収していますが、改定されることがあります。
関西大学留学生別科を修了した者が学部に進学する場合または本学留学生別科に在学する学生が修了を待たずに引き続き学部へ進学する場合は、入学金（入学登録金）を半額とします。

ご参考

14　高等教育の修学支援新制度に係る本学の取扱いについて

関西大学は、「高等教育の修学支援新制度（授業料等減免・給付型奨学金）」の対象校に認定されています。

関西大学では、「高等教育の修学支援新制度」対象者※の入学時納付金（入学金（入学登録金）、授業料・諸費）は以下のとおり取り扱います。

※「高等教育の修学支援新制度」対象者とは、進学前に日本学生支援機構へ高等学校等を通じて申請し、「高等教育の修学支援新制度（授業料等減免・給付型奨学金）」の『令和９年度　大学等奨学生採用候補者決定通知』を受け取っている人です。

【参考】「高等教育の修学支援新制度」の内容・詳細は文部科学省の特設ページをご覧ください。
文部科学省の特設ページ⇒https://www.mext.go.jp/kyufu/

「高等教育の修学支援新制度」対象者の入学時納付金（入学金（入学登録金）、授業料・諸費）の取扱い

- **入学手続１＜入学金（入学登録金）の納入および授業料・諸費の納入＞は、合格者へ案内される『入学手続案内書（Ⅰ）』に記載の納入期日までに全額を納入する必要があります。なお、所定の期日までに納入がない場合は入学を許可しません。**
- 入学後に所定の手続きを経て授業料等の減免対象であることが確認できた人には、学生本人名義の口座への振込みをもって減免相当額を還付します。
- 授業料等減免および給付型奨学金にかかる入学後の手続きの詳細は、入学金（入学登録金）の納入後に案内される『奨学金の案内』にてご案内します。
- やむを得ない理由で入学を辞退する場合は、2027年３月31日（水）までに所定の手続きを行うことで、既に納めた授業料・諸費の返還を請求することができます。なお、一旦納入された入学金（入学登録金）は、返還いたしません。

なお、「高等教育の修学支援新制度」対象者で、関西大学における志望学部での勉学を強く希望し入学する意思のある合格者は、猶予申請手続きにより、入学手続１＜授業料・諸費の納入＞の納入期限を猶予することができます。納入猶予の希望者は以下をご確認ください。

「高等教育の修学支援新制度」対象者で、入学手続１＜授業料・諸費の納入＞の納入期限の猶予を希望する人の猶予申請手続きについて

- **入学金（入学登録金）は納入猶予の対象とはなりません。**合格者へ案内される『入学手続案内書（Ⅰ）』に記載の納入期日までに納入してください。なお、所定の期日までに納入がない場合は入学を許可しません。
- 授業料・諸費の納入猶予の要件及び手続方法等は、合格者へ案内される『「高等教育の修学支援新制度」対象者 入学手続（１）＜入学金（入学登録金）、授業料・諸費の納入＞に係る取扱いについて』をご確認ください。
- 納入猶予の希望者が授業料・諸費を誤って納入した場合は、入学後に所定の手続きを経て減免相当額を還付します。なお、一旦納入された入学金（入学登録金）は、返還いたしません。

〔高等教育の修学支援新制度に関する問い合わせ先〕
関西大学　学生センター　奨学支援グループ　Tel. 06-6368-1121（大代表）

〔入学手続１＜入学金（入学登録金）＞に関する問い合わせ先＞
関西大学　入試センター　入試・高大接続グループ　Tel. 06-6368-1121（大代表）

〔入学手続１＜授業料・諸費＞の納入期限の猶予に関する問い合わせ先〕
関西大学　教務センター　庶務チーム　Tel. 06-6368-1121（大代表）

ご参考

15　障がいのある受験生等への受験上の配慮および修学上の配慮について

疾病・負傷や障がい等のために、入学試験受験上の配慮および修学上の配慮を希望する志願者に対しては、その程度に応じ、受験時や入学後の学習環境において、可能な限り配慮措置を講じますので、出願に先立ち、関西大学 入試センター 入試・高大接続グループに必ず申し出てください。

※申し出がない場合や、事前の相談がない場合は、受験上の配慮や、入学後に修学上の配慮ができないことがあります。

出願後の事故や負傷・急な疾病等の場合は、速やかに申し出てください。

16　健康状況について

健康診断書を提出する必要はありません。

ただし、入学後、新入生全員を対象に健康診断を行います。

17　入学前教育について

本学では入学前教育を実施しています。詳細については、合格者発表時に本人へ通知します。

なお、十分な取り組みがみられない場合は、入学を許可しない場合があります。

ご参考

18　関西大学への主な交通機関

受験に際しては公共交通機関をご利用ください。

■千里山キャンパス

法学部／文学部／経済学部／商学部／社会学部／政策創造学部
外国語学部／システム理工学部／環境都市工学部／化学生命工学部



大阪梅田からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」駅から、「北千里」行で「関大前」駅下車（この間約20分）、すぐ。または「京都河原町」行の場合「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

Osaka Metro 利用のアクセス

Osaka Metro堺筋線（阪急電鉄に相互乗り入れ）が阪急電鉄「淡路」駅を経て「関大前」駅に直通しています。

京都河原町からのアクセス

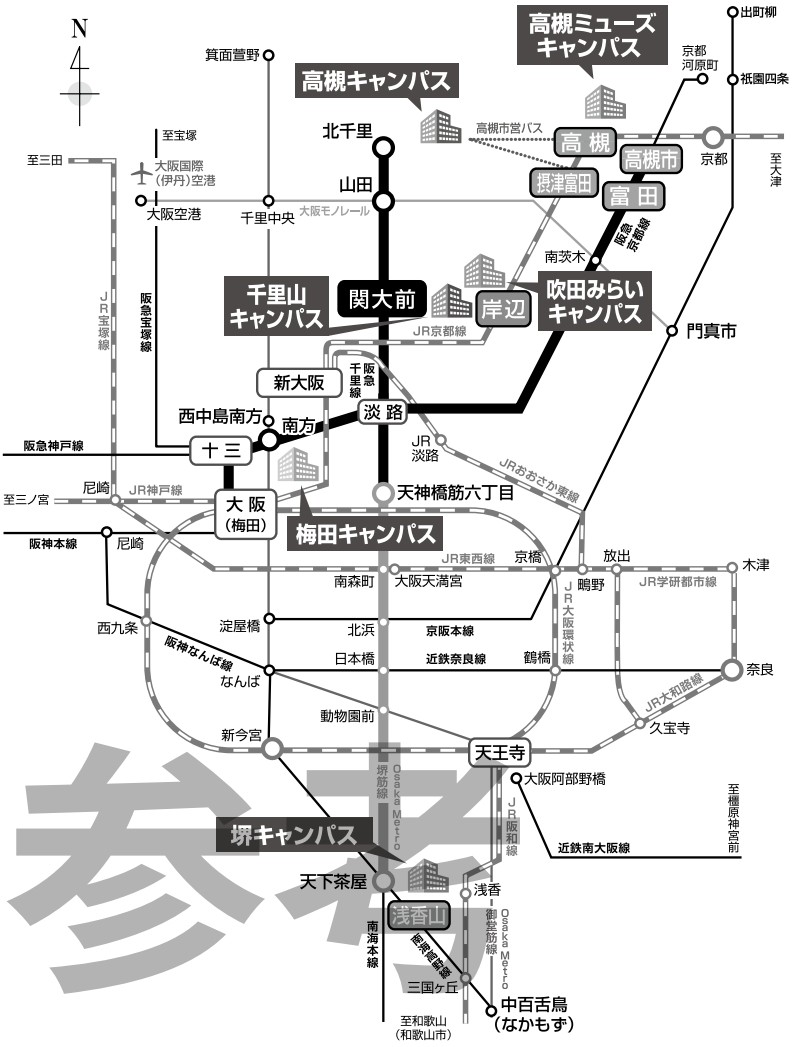
阪急電鉄「大阪梅田」行で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車、すぐ。

新幹線「新大阪」駅からのアクセス

JR「新大阪」駅からOsaka Metro御堂筋線「なかもず（方面）」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方（みなみかた）」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車（この間約30分）、すぐ。

大阪国際（伊丹）空港からのアクセス

大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市（かどまし）」行で「山田」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「関大前」駅下車（この間約30分）、すぐ。



ご参考

■高槻キャンパス

総合情報学部



阪急電鉄でのアクセス

阪急京都線「高槻市」駅（大阪梅田・京都河原町駅から共に約20分）または「富田」駅下車後、JR「高槻」駅またはJR「摂津富田」駅まで徒歩移動（約5～10分）し、高槻市営バス※に乗車。

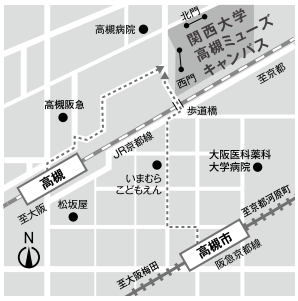
JRでのアクセス

JR京都線「高槻」駅（大阪・京都駅から共に約15分）または「摂津富田」駅下車、高槻市営バス※に乗り換え。

※高槻市営バス
JR「高槻」駅から「関西大学」行に乗車。JR「摂津富田」駅からは「関西大学」「萩谷」「萩谷総合公園」行のいずれかに乗車し、キャンパス内のバス停「関西大学」下車（この間両ルート共に約20分）。「西の口」では降りないでください。

■高槻ミューズキャンパス

社会安全学部



JRでのアクセス

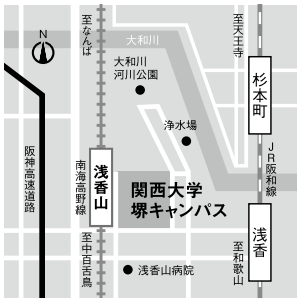
JR京都線「高槻」駅（大阪・京都駅から共に約15分）下車、徒歩約7分。

阪急電鉄でのアクセス

阪急京都線「高槻市」駅（大阪梅田・京都河原町駅から共に約20分）下車、徒歩約10分。

■ 堺キャンパス

人間健康学部



南海電鉄でのアクセス

南海高野線「浅香山」駅（なんば駅から約20分）下車、すぐ。

■ 吹田みらいキャンパス

ビジネスデータサイエンス学部



JRでのアクセス

JR京都線「岸辺」駅下車、徒歩約18分または「JR岸辺駅（北口）」から阪急バス1番のりば（桃山台）方面より11系統に乗車し「関西大学吹田みらいキャンパス」下車（バス乗車時間約5分）、徒歩約3分。

北大阪急行でのアクセス

北大阪急行「桃山台」駅から阪急バス2番のりばより10系統または11系統に乗車し「関西大学吹田みらいキャンパス」下車（バス乗車時間約15分）、徒歩約3分。

阪急電鉄でのアクセス

阪急千里線「阪急南千里」駅から阪急バス5番のりばより10系統または11系統に乗車し「関西大学吹田みらいキャンパス」下車（バス乗車時間約10分）、徒歩約3分。

19　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）について

関西大学は、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。
1　高等学校の教育課程を通じて、基礎的な知識・技能を幅広く習得している。
2　高等学校の正課及び正課外での学習を通じて、柔軟な思考力、旺盛な知的好奇心、社会に貢献しようとする高い目的意識など、「考動力」の基盤を培っている。
3　特定の学問領域を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。

○各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

学部		入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
法学部		法学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づく教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を求めます。 1　次の知識・技能を有している。 ①今日の社会制度の歴史的形成過程に関する知識 ②外国で行われている議論を理解するための外国語能力 ③他者の見解を十分に理解し、かつ、自己の見解を表明し得る日本語能力 2　さまざまな文化的背景や価値観を持つ他者の見解の意義を認めつつ、十分に根拠づけられた議論を通じて他者を説得し、合意を形成する能力を有している。 3　広く社会の出来事に関心を持ち、法と政治を学ぶことで自らの考えを形づくり、さまざまな利益や価値を民主的に調整しながら問題解決に向けて行動しようとする意欲を有している。
文学部		文学部では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づく教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を求めます。 1　高等学校等での教育課程で求められる基礎的な学力を有している。具体的には、次のような学力を身につけていることを推奨する。 (1) 文章を的確に理解する読解力と、自己の考えを明確に述べるのに十分な語彙力・表現力（国語・外国語）、 (2) 日本を含めた現代世界の情勢とその歴史的・地理的背景に関する基礎的事項（地歴・公民）知識、 (3) 基礎的な数学的思考や自然科学的説明様式への理解力（数学・理科） 2　自己を表現し他者を理解するために必要な基本的言語運用能力を備えている。 3　人間の文化的営みに対する関心と感性を持ち、主体的に探求する姿勢を有している。
経済学部		経済学部（以下、「本学部」という）は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を求めます。 1　（知識・技能） ①日本史、世界史、政治・経済、地理の基本的な知識に通じていること、 ②論理的な思考を根底から支える基本的な日本語・英語の読解力及び数的処理能力を備えていること、 ③自分の興味関心を他者に説得的に伝えることができる文章表現力及び口頭発表能力を涵養していること。 2　（思考力・判断力・表現力等の能力） 国内外の経済活動への幅広い興味関心を持っていることはもちろん、その興味関心を自分自身の問題として捉えなおす問題発見力と、論理的な思考にもとづいて自分なりの解答を導出できる問題解決力とを有していること。 3　（主体的な態度） 国内外の経済問題に常に関心を持ち、それらの解決に向けて社会へ積極的に貢献しようという意欲を有していること。
商学部		商学部（以下、「本学部」という）では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を求めます。 1　本学部でより充実した学びを実現するためには、国内外の歴史的及び現代的な政治経済・社会・地域事項について、基礎的な知識を備えていることが重要である。また、自己の主張を明確に伝える国語能力、英語によるコミュニケーション・スキルを習得していることは不可欠である。さらに、データに基づいて分析するために数学の基礎的能力を身につけておくことが望しい。 2　本学部が求めるのは、大学における学びによって、これらビジネスの諸領域における問題解決能力・リーダーシップ能力を大いに発展させることができる可能性を有している人材である。 3　何よりも、本学部の教育方針をよく理解し、ビジネス・経済・社会を学ぶことに対して意欲を有している。
社会学部		社会学部は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を求めます。 1　人間と社会に関する現象を科学的に分析し、理論的・実践的に学んでいくために、高等学校の課程での学習等を通じて以下の能力を有している。 (1) 国語や外国語の学習により、的確な読解力と自らの考えを表現する能力を有している。 (2) 地理歴史および公民の学習を通じて、わが国を含む世界各国・各地域の歴史的発展過程や生活・文化の地域的特色、並びに現代の社会における政治・経済の仕組みを理解している。 (3) 数学や理科などの学習によって、論理的思考に十分親しむとともに、日進月歩する科学技術に関する基本的知識を身につけている。 2　人間と社会に関する問題に目を向け、その解決に挑み、新たな価値を創出することで社会への貢献を志している。 3　人間と社会に対する知的好奇心とともに、社会現象に対する多様な評価や視点を許容する柔軟性を持って主体的に学んでいく意欲を持っている。
政策創造学部	政策学科	政策創造学部(政策学科)では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1　高等学校等における全般的な基礎学力を有している。具体的には次の能力を身につけておくことを推奨する。①国語：国語を適切に表現し、古典・近代以降の文章を的確に理解することができる、②地理歴史：我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色について理解できる、③公民：現代の社会について主体的に考察し、民主主義のもとでの政治・経済・国際関連事項を理解できる、④数学：方程式・関数・図形・微積分・集合・確率・数列・ベクトルなどの数学的見方及び考え方を認識し、事象を数学的に考察し処理することができる、⑤外国語：外国語を通じて言語・文化に対する理解を深め、読み書きはもとより積極的にコミュニケーションを図ることができる。 2　自分の将来の課題を探し求め、その課題に対して幅広い視野から柔軟で総合的な判断を下す「真の実践的能力」を育む「考動力」の基盤を有している。 3　地域社会の諸問題に対して取り組んだ経験を有している。
	国際アジア学科	政策創造学部（国際アジア学科）では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1　高等学校等における全般的な基礎学力を有している。具体的には次の能力を身につけておくことを推奨する。①国語：国語を適切に表現し、古典・近代以降の文章を的確に理解することができる、②地理歴史：我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色について理解できる、③公民：現代の社会について主体的に考察し、民主主義のもとでの政治・経済・国際関連事項を理解できる、④数学：方程式・関数・図形・微積分・集合・確率・数列・ベクトルなどの数学的見方及び考え方を認識し、事象を数学的に考察し処理することができる、⑤外国語：外国語を通じて言語・文化に対する理解を深め、読み書きはもとより積極的にコミュニケーションを図ることができる。 2　自分の将来の課題を探し求め、その課題に対して幅広い視野から柔軟で総合的な判断を下す「真の実践的能力」を育む「考動力」の基盤を有している。 3　国際的視野に立って政策学を学ぶ事を目的としていることから、多様な形で国際的経験を有している。

（次ページにつづく）

外国語学部	外国語学部（以下、「本学部」という）では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づく教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を求めます。 1　高等学校の教育課程を通じて学ぶ知識、技能を十分に習得している。特に外国語、国語、地理歴史、公民などの学習を通して、外国語及び日本語の高度な運用能力を身につけ、多文化の理解を深めるうえでの基礎的知識を有している。 2　外国語を通して新たな知識を吸収し、国際的な諸問題についての理解を深めようとする「考動力」の基盤を持っている。さらに本学部ではスタディ・アブロードを必修としていることから、様々な文化的背景を持った人々と直接接触する体験に強い意欲を持つとともに、環境の変化に対応できる柔軟性や、コミュニケーションに対する積極性など、「生きる力」につながる資質や態度を有している。 3 「外国語」を切り口に時代と社会に向き合い、グローバル社会のフロントランナーとなるために必要な学問領域を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。
人間健康学部	人間健康学部では、学位授与の方針および教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力および主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1　人間の心身の健康に関する積極的関心およびそれを科学的に展開するための基礎学力を有している。 2　社会に関心をもち、幅広い教養と実践能力を兼ね備えた関西大学が推奨する判断力と行動力を融合した「考動力」の基盤を有している。 3 「スポーツと健康コース」では、スポーツや健康に興味関心をもち、スポーツ活動を通しての人間形成やコミュニティの再生、あるいは新たな人間の健康のあり方を探り、地域において活躍したいという意欲がある。 4 「福祉と健康コース」では、福祉と健康に興味関心をもち、これまでの社会福祉のあり方や実践を、人間の生活環境と健康の関係からとらえることができるとともに、地域コミュニティにおける福祉文化の構築および醸成に、積極的に貢献したいという意欲がある。
総合情報学部	総合情報学部では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1　特定の科目にとどまらず、高等学校までの各教科・科目を全般的に習得し、基礎的な学力を十分身に付けている。 2　コンピュータや情報と人間・社会に対して強い興味や関心を持ち、幅広い教養と実践能力の基盤を有している。 3　入学後に修得する知識やスキルを最大限に活用しながら、自分の専門を深く追求し、社会に貢献しようとする高い目的意識を持っている。 4　文系・理系という枠にとらわれることなく、さまざまな領域を「情報」という視点から総合的に探究するための素養を有している。
社会安全学部	社会安全学部（以下「本学部」という。）では、安全・安心な社会の創造に寄与することを目標に、高等学校の教育課程における幅広い知識・技能を基礎として、防災・減災対策や事故防止、危機管理のための政策立案とその実践に関する知識・技能を学び、安全問題を総合的に分析、考察、マネジメントできる思考力・判断力・表現力を修得して、安全な社会の実現に向けて主体的に貢献しようとする者を、本学部に適性のある人材として受け入れます。特に、以下の観点を評価する多様な入試制度を通じて本学部への適性の有無を判断します。 1　特定の科目にとどまらず、高等学校までの各教科・科目を全般的に習得し、基礎的な学力を十分身に付けている。 2　新たな知識・経験を積極的に獲得し、新たな課題を探求し、課題解決に挑戦しようとする「考動力」の基盤を有している。 3　社会の安全問題に関する国境や文化を超えたコミュニケーションに必要な現代社会の情勢や歴史的・地理的背景に関する知識、文章の読解力と、自己の考えを明確に述べるのに十分な語彙力・表現力を有している。 4　社会の安全問題を論理的・科学的に把握して検討する上で必要な基礎的な数学的思考力と自然科学に関する知識を有している。
ビジネスデータサイエンス学部	ビジネスデータサイエンス学部では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づく教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を求めます。 1　知識・技能 (1) 数学、地理歴史及び公民、情報の学習を通じて、ビジネス分野及びデータサイエンス分野における専門的知識を修得するために必要な基礎学力を身に付けている。 (2) 国語や数学、英語の学習を通じて、データを正しく扱い、理解するために必要な論理的思考力または数学的リテラシーを身に付けている。 2　思考力・判断力・表現力等の能力 (1) 国語や外国語の学習を通じて、他者への敬意を持ち、自身の考えを分かりやすく表現する傾聴力と発信力を身に付けている。 (2) 高等学校の課程の全般的な学習を通じて、政治経済・社会・地域・科学・技術・自然など多様な分野の事項をさまざまな問題に結び付けて理解する力を身に付けている。 3　主体的な態度 (1) 現実社会に起きている課題の解決や新たな価値の創出に関する手法を学修する意欲を有している。 (2) 自己の能力を高めるため、自ら学び続ける意欲を有している。
システム理工学部（工学）	システム理工学部は、学位授与（工学）の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできるものとして、多様な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能・資質・能力及び態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1　高等学校での教育課程の全般的な基礎学力を有している。特に、数学と理科（主に、物理）に関する基礎的な知識と技能を幅広く習得している。 2　社会に関心を持ち、幅広い教養と実践能力を兼ね備えた「考動力」の基盤を有している。 3　知的好奇心旺盛で、「しくみづくり」に興味を持ち、修得した知識・情報・技能を「しくみづくり」を通して社会に役立てたいという意欲がある。
システム理工学部（理学）	システム理工学部では、学位授与（理学）の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできるものとして、多様な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能及び態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1　高等学校での教育課程の全般的な基礎学力を有している。特に、数学と理科（主に、物理）に関する基礎的な知識と技能を幅広く習得している。 2　社会に関心を持ち、幅広い教養と実践能力を兼ね備えた「考動力」の基盤を有している。 3「数学科」では、数学が好きであること、あるいは自然科学、情報科学、社会科学における数理的側面に好奇心を持ち、じっくりと物事を考えることに高い志向性を有している。 4 「物理・応用物理学科」では、自然現象のしくみを解き明かすこと及びそれを数学を用いて表現することに興味と関心を持ち、科学技術や科学教育の実践や発展に積極的に貢献したいという意欲がある。
環境都市工学部	環境都市工学部（以下、「本学部」という）では、地球環境にやさしい「まちづくり」を基本コンセプトに、環境、都市デザイン、建築、社会基盤、情報、資源、エネルギー、環境化学プロセスをキーワードに位置付けて、環境問題をはじめ、様々な課題の解決に向けて科学技術の力を発揮し、持続可能な開発目標に向けて国際的に活躍できる人材を養成するために、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた入学者を広く受け入れます。 1（知識・技能） 現象をモデル化して記述するために必要となる、数学的な能力や、物理・化学を中心とした理科の基礎力を有している。さらに、建築学科については、建築と密接に関連する地理歴史、家庭、芸術などの教科についての基本的知識や技術を、都市システム工学科については、都市とそれが抱える諸問題に対する関心と基本的知識を、エネルギー環境・化学工学科については、エネルギー問題や環境問題の現状について基本的知識を、それぞれ有している。 2（思考・判断・表現） 数学・理科に関する基本的知識や、それぞれの学科で必要となる基本的知識に基づいて、本学部における様々な問題に取り組む思考判断力を有している。 3（主体性・協働） 人々の基本的な都市活動を豊かなものにしていくための「まちづくり」に取り組み、技術者・研究者として快適な都市環境を創造・再生することに対する意欲をもって取り組む姿勢を有している。 4（考動力） 自らの思考に基づいて、社会に貢献する行動力を有している。さらに、建築学科については、「すまい」や「まち」に深い関心を持ち、それらのあり方や課題について考える能力を、都市システム工学科については、都市のシステムの変化や問題、あるべき姿などに関して常に問題意識を持って考える能力を、エネルギー環境・化学工学科については、世界が抱えるエネルギー問題や地球環境の変化に関心を持ち、新しい技術に関して興味を持って考える能力を、それぞれ有している。
化学生命工学部	化学生命工学部では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた者を広く受け入れます。 1　高等学校の教育課程を通じて、理科系科目（数学・物理学・化学・生物学）の基礎的知識と技能に加えて、「国語」「英語」さらに「社会」の基礎的な知識・技能を幅広く習得している。 2　高等学校の正課及び正課外での学習を通じて、柔軟な思考力、旺盛な知的好奇心、社会に貢献しようとする高い目的意識など、「考動力」の基盤を培っている。 3 「ものづくり」に必要な「化学・生物学・数学・物理学」を基礎とする学問領域を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。

参考

【MEMO】

ご参考

【MEMO】

ご参考

関西大学

ご参考

AO入試についてのお問い合わせ先
関西大学 入試センター 入試・高大接続グループ
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
Tel. 06-6368-1121（大代表）
https：//www. kansai-u.ac.jp/nyusi/

※2027年度AO入学試験要項（本冊子）、出願書類は「関西大学入学試験情報総合サイト Kan-Dai web」(https://www.kansai-u.ac.jp/nyusi/)よりダウンロードすることができます。